日本とスペインをつなぐ無料スペイン情報誌［アクエドゥクト］ www.acueducto.jp

acueducto

2015
21
31-mayo

ニューフラメンコの先駆者として世界から注目される舞踏家

Belén Maya ベレン・マジャ

基礎からしっかり学ぶ！

スペイン語レッスン

話せる楽しさを実感しながら、スペイン語を身に付けよう！

新規開講入門クラスのご案内（各クラス定員4名）

●2015年6月開講

水曜日 19:30-20:20（2015年6月10日〜8月26日）
木曜日 18:30-19:20（2015年6月11日〜8月27日）
金曜日 20:30-21:20（2015年6月12日〜8月28日）
土曜日 17:30-18:20（2015年6月13日〜8月29日）

入会金 16,400円 OFF ！！
（2015年7月末まで）

初心者の方対象の新しいクラスなので、スペイン語が全くはじめての方でも安心してスタートできます！各クラス定員になり次第、締め切りますので、お早めにお申込ください。

無料体験レッスンのご予約はお電話で承ります
TEL：06-6346-5554

新規開講コースの日程が合わない方や、その他の曜日や時間をご希望の方はお気軽にお問合せください。また学習経験者の方は、是非一度レベルチェックを兼ねた無料体験レッスン（要予約）をお試しください。レベルに合ったクラスをご案内いたします。

お問合せはこちら！

スペイン語教室アデランテ
（JR大阪駅「桜橋口」徒歩5分）
TEL: 06-6346-5554 E-mail:info@adelante.jp
www.adelante.jp

スペイン・中南米 留学セミナー開催中！

spain ryugaku 留学.jp

www.spainryugaku.jp
スペイン留学.jp
E-mail: info@spainryugaku.jp
TEL: 06-6346-5554

いつかスペイン語圏に留学してみたいな … と考えているあなたへ！
スペインの都市、学校・コース、滞在方法、費用、学生ビザ、準備方法等を留学経験のあるスタッフが詳しくご説明いたします。
是非お気軽にご参加下さい！
セミナー後、個人カウンセリングもご予約承ります。

【日時】
6月17日（水） 11:00〜
7月20日（月・祝） 11:00〜
8月14日（金） 15:30〜

セミナー所要時間 約40分/その後個別カウンセリング
※上記日時以外でも随時個別カウンセリングを受け付けております。

【場所】
スペイン語教室アデランテ
〒530-0035 大阪府大阪市北区梅田2-5-8-2F
※ 参加ご希望の方は、必ず事前にお電話にてお申込下さい。

【お申込・お問合せ】
有限会社ADELANTE
TEL:06-6346-5554 E-mail: info@spainryugaku.jp

スペイン語の本＆雑貨

オンラインショップ アデランテ
ADELANTE
www.adelanteshop.jp

送料全国一律 ￥280
8,000円以上のお買い上げで 送料無料

▼スペイン関連書籍各種取り扱っています
- 学習テキスト
- 文法問題集
- レベル別副読本
- 絵本
- D.E.L.E.試験対策本 etc...

スペイン情報誌 acueducto
定期購読のご案内

定期購読をご希望の方に、送料をご負担いただき、ご自宅までお届けしております。ご希望の方は、お申込書をお送り致しますので下記連絡先までお問合せ下さい。

送料（1年間：4号分） 1〜7冊 ￥1,200 / 7〜14冊 ￥2,400
※冊子のお届けは申込書提出・ご入金後となります。

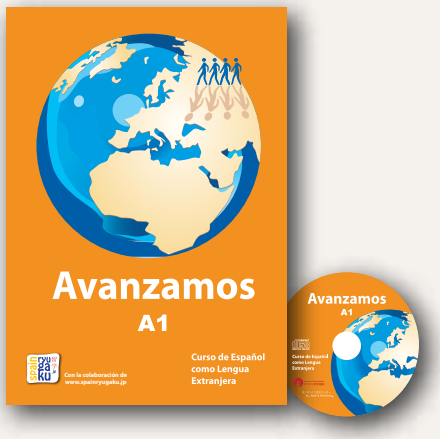
有限会社ADELANTE TEL:06-6346-5554 E-mail:info@acueducto.jp

Asociación Cultural Española スペイン文化協会

日本のスペイン語学習の現状を考慮した新しいスペイン語テキスト

Avanzamos A1

1,944円（税込）



初めてスペイン語に触れる方対象
入門者向けスペイン語テキスト。
外国語学習に必要な４つの技能を伸ばします。

口頭表現 文章読解 聞き取り 読解

- ☑ 2セメスター（1年間）かけて学習できるため、大学でのスペイン語の授業にも最適！
- ☑ プライベートレッスン、グループクラスの両方で使用可能
- ☑ オールカラー／CD付 写真やイラストが多く使われ、視覚やコミュニケーションに重点を置いたテキスト

www.adelanteshop.jp

【お問合せ・ご注文は】
有限会社ADELANTE
〒530-0001
大阪市北区梅田2-5-8
千代田ビル西別館 2F
TEL: 06-6346-5554
FAX: 06-6110-5122
info@adelanteshop.jp

Sumario

2 特集 ベレン・マジャ 文 Carmen Álvarez 翻訳 井原亜紀

12 ブドウ色の地図から - スペインワインよもやま話 vol.4 ナバラに生きる人々 文・写真 渡辺万里

18 美人の国スペイン 文・写真 松ノ川 タケシ

21 スペインサッカーを巡る 第9回 指導者育成システム 文 尾崎剛士 イラスト Jesús Martín

27 スペイン語で話そう Lección 3 自己紹介しよう その3

28 スペイン語講座 Lección 21 線過去の用法について(2) 文 仲井邦佳

29 ビジネススペイン語 Lección 2 売上高について 文 伊藤嘉太郎

30 エコ・エスパーニャ Vol.8 再生可能エネルギー大国スペイン 文・写真 篠田有史

33 HISTORIA DE HISTORIAS スペイン内戦が生んだ「ロバート・キャパ」 その7 文 川成洋

34 セルバンテス文化センター イベントレポート アラブ文化月間 文・写真 Antonio Gil de Carrasco

39 Rumbo al sol Vol.8 セマナサンタの慣習について 文・写真 Xavier Cabrera

40 スペインのお勧めバール・レストラン vol.11 文・写真 田中富子
スペイン小橋 第3回 文・写真 土屋寛子

41 西宮市国際交流協会 スペイン語おしゃべりの会 活動のご紹介 文・写真 谷善三

42 書評 文 川成洋

ご挨拶

数年前、最近の若者がスペインについてどんなイメージを抱いているのかを知るべく、アンケート調査を行ないました。「スペインについて抱いているイメージとは何か」という問いに対する回答を多い順に5位まであげますと、①フラメンコ、②闘牛、③パエリア、④サグラダ・ファミリア、⑤情熱となります。そんな訳で、今号の特集は日本で一番人気のフラメンコです。フラメンコは南スペイン、アンダルシア地方のジプシーの間で発達した民俗音楽および舞踊です。日本でもフラメンコは大正時代から広まり、今や全国に3000箇所以上のフラメンコ教室があり、多数の日本人女性がフラメンコを学んでいます。最近では、男性の舞踊家も増えてきているようです。フラメンコ人気が上昇する中で、数年前から、京都外国語大学で、全国学生フラメンココンテストが開かれていることは、本誌でもご紹介してきました。参加校も年々増えてきており注目されています。

今号でフラメンコ特集を組むにあたり、京都で活躍中のフラメンコ舞踊家カルメン・アルバレスには大変お世話になりました。この場を借りて厚くお礼を申し上げます。

Hace unos años realicé una encuesta sobre qué términos relacionaban los jóvenes japoneses con España. Entre las respuestas recibidas, destacaba en primer lugar el flamenco, seguido por la corrida de toros, la paella, La Sagrada Familia y en quinto lugar la pasión. Así que hemos elegido el flamenco, uno de los tópicos más famosos de España en Japón, como tema especial para este número.

El flamenco es la música y el baile que nació entre los gitanos en Andalucía, el sur de España. En nuestro país empezó a practicarse el flamenco en la era Taisho. Actualmente multitud de japonesas y un creciente número de bailaores japoneses lo aprenden en los más de tres mil centros repartidos por todo el territorio.

Debido al aumento de la popularidad del flamenco, se celebra desde hace unos años un certamen de este arte en la Universidad de Estudios Extranjeros de Kioto, difundido a través de esta revista. En este concurso participan cada vez más grupos y adquiere en cada nueva edición más fama.

Para materializar este número especial sobre el flamenco hemos contado con la colaboración de Dña. Carmen Álvarez, bailaora española, profesora de flamenco en Kioto. Desde aquí le expresamos nuestro más sincero agradecimiento.

坂東省次 ばんどうしょうじ / Shoji Bando
京都外国語大学スペイン語学科長・教授。京都セルバンテス懇話会代表。専攻はスペイン語学、日西交流史。
近著に『スペインを訪れた作家たち』（沖積舎）がある。

©Jean Louis Duzert

acueducto 21

スペイン無料情報誌
mayo 2015 vol.21
printed in Japan / FREE PAPER
表紙：**Belén Maya ©Miguel Ángel González**

発行元：
有限会社ADELANTE
〒530-0011 大阪市北区梅田2-5-8 千代田ビル西別館2F
Tel：06-6346-5554 Fax：06-6110-5122
email: info@acueducto.jp
www.acueducto.jp

ADELANTE Co., Ltd
2FL. Chiyoda Bldg. West Annex 2-5-8 Umeda Kita-ku Osaka
530-0001 Japón

www.facebook.com/acueducto.japon
@acueducto_japon
Asociación Cultural Española スペイン文化協会

本誌の無断複写（コピー）は著作権法上での例外を除き、禁じられています。本誌の内容および広告に関しては、発行元の責任の限りではありません。

Director:
Shoji Bando 坂東省次

Editor:
Alejandro Contreras アレハンドロ・コントレラス

Maquetación y diseño:
Sachi Yamakage 山陰さち

Colaboradores:
Yo Kawanari 川成洋
Kuniyoshi Nakai 仲井邦佳
Mari Watanabe 渡辺万里
Shizuka Shimoyama 下山静香
Yuji Shinoda 篠田有史
Koichi Hayashi 林コイチ
Kaname Ikemoto 池本かなめ
Azusa Matsumoto 松本あずさ
Antonio Gil de Carrasco アントニオ・ヒル・デ=カラスコ
Elena Contreras エレナ・コントレラス
Jesús Martín ヘスース・マルティン

Colaboradores:
スペイン政府観光局 www.spain.info

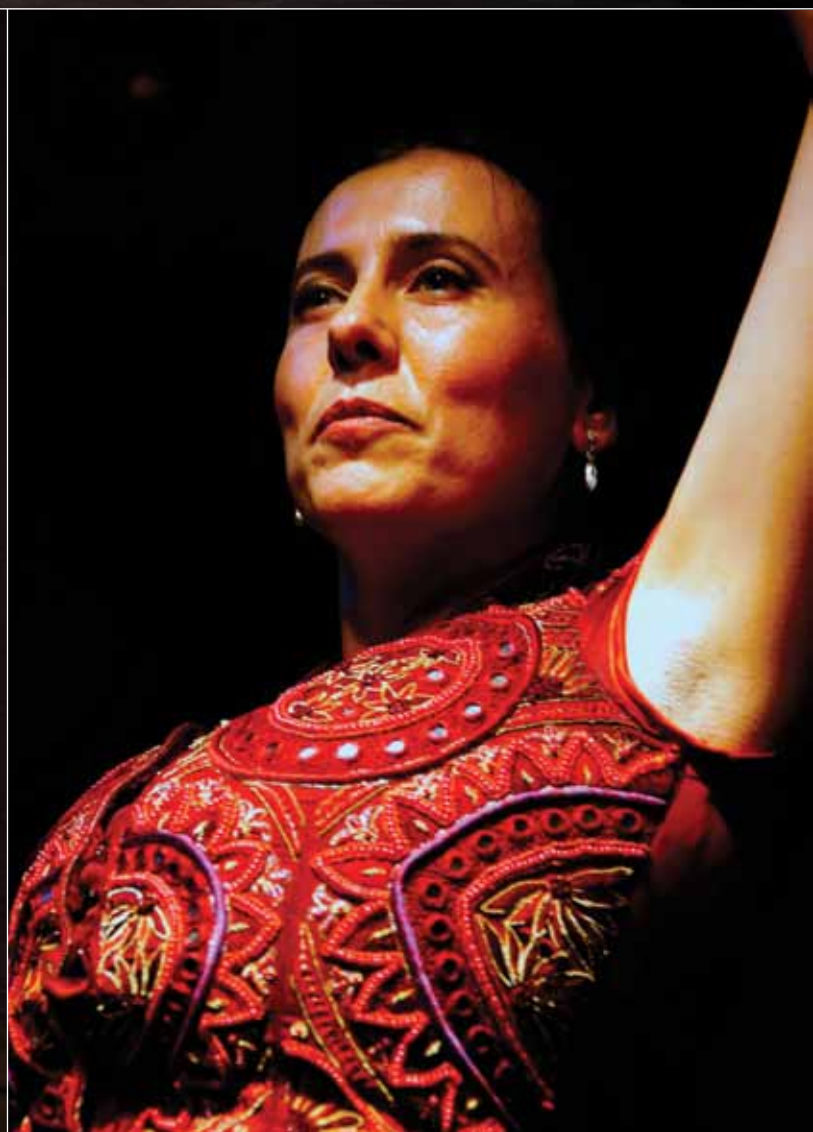
Belén Maya

彼女の名前はベレン・マジャ。今、この時代で輝きを放っているバイラオーラ（フラメンコの踊り手）の中でも世界的に活躍する有名人の1人である。そして長い間いわゆる『ニューフラメンコ』と言われるものの先駆者であり続け、それ故にこの屈指の実力を持つ女性は世界中のバイラオーラ達を惹きつけてやまない。

文・ Carmen Álvarez　翻訳・ 井原亜紀

©Luis Castilla

写真上：Belén Maya ©Luis Castilla
左下：Emilio Maya　右下：Carmen Álvarez



2015年2月某日　東京にて　ベレン・マジャ、エミリオ・マジャと

＊東京、恵比寿駅で私はエミリオ・マジャと2人で彼女を待った。

ニューフラメンコの先駆者であり世界的な舞踊家であるベレン・マジャ。一方でエミリオもまた偉大な人物であり、一流のフラメンコアーティストである。もう3年も東京に住んでいるのだが、それは彼の言葉によれば『地上の楽園にいる』のだそうだ。ベレンに会ってすぐにこのことを聞いてみたが、彼女もまた、『私も帰りたくないわ。だって日本が大好きだし、その思いは来るたびに強くなるのよ』とのことだ。

私達は夕食を共にして親しく語り合った。私の名前はカルメン・アルバレス。現在日本に住んでいる。私は幸せなことにセビージャとグラナダでベレン・マジャのフラメンコクラスを受けた経験があり、そしてこのことは私のフラメンコ舞踊の考え方に影響を及ぼしている。初めて彼女が踊るのを見たのは、カルロス・サウナ監督によるフラメンコ映画の中だった。彼女は緑のドレスを身に纏い、フラメンコ独特のブレリーアス（3拍子の快活な曲種）のリズムに合わせて自由に舞っていた。ジプシー的な要素が混ざる曲の中、彼女の身体は自由に躍動し、さらには魂が身体から抜け出て空中を舞っているようだった。これを見た時、私も踊りたい、と思ったのだ。

エミリオとベレンはマジャという同じ苗字だ。ベレンの父親はマリオ・マジャと言い、グラナダのバイラオールだ。エミリオの家族もグラナダの沿岸地域の出身だから、彼等のひいおじいさんくらいが親戚だったのではないだろうか。2人が一緒にいるとどこか似ているような気がする。マジャとは、秀でたアーティストであり、一流の人物の苗字なのだ。

さて、レストランではエミリオが日本に来た経緯を話し始めている。

エミリオ：　ベレンのお父さんのマリオ・マジャが僕にフラメンコギタリストである蒲谷照雄さんを紹介してくれて、2人でグラナダのサクロモンテの洞窟タブラオ（フラメンコを上演する酒場）に行ったとき、照雄さんがこう言ったんだ。『エミリオ、私と一緒に日本で働かないかい？』ってね。実は、数日前、僕は日本でギターを弾けたらいいなと思っていたから、こんな願ってもいない機会を逃すはずがなかった。初めの頃は日本とスペインを行ったり来たりしていたけれど、結局はここに落ち着いた。今ではもう、スペインに戻りたくはないな。

カルメン：　ベレン、あなたのお母さん、カルメン・モラのことを聞かせてくれる？もちろん、多くのフラメンコ関係者はあなたのお父さん、マリオ・マジャのことは知っているけれど、お母さんもまた、偉大なバイラオーラだったわね。私はテレビで彼女の踊りを見て、あなたは間違いなく彼女の娘だって思ったの。

ベレン：　残念ながら、母は私が14歳の時に亡くなったの。一度も母にフラメンコを習ったことはなかったし、母らしいことさえもしてもらえなかった。両親は私が5歳の時に離婚して、母はマドリッドのタブラオ、チニータスで踊っていたし、海外ツアーに出ることもあったから、殆ど家にいることはなかったわ。私のそばには素敵な女性がいて、幸せなことに彼女が母親のように私を育ててくれたの。子供の頃は家に両親はいなかったし、フラメンコの音楽を聴くことすらなかった。18歳の誕生日を迎えた時、自分の意志でフラメンコを習い始めたの。それは必死で練習したわ。だって18歳にしてゼロから初めたから、まるで外国人がフラメンコを習うようなものだったの。その頃はマドリッドに住んでいたけれど、19歳になるとタブラオ、『ロス・ガジョス』で踊ろうとセビージャに移り住んだわ。もしバイラオーラとしてやっていくのなら、自分自身で学び、人生を切り開いて行く以外に道はないと感じていたの。ちょうど父がセビージャでアンダルシア・ダンスカンパニーを立ち上げていて、私はそこに一団員として参加したの。私の中にはいつも既存のものに抗う自分がいて、私には私だけの踊り方があると知っていた。それが運命にせよ、なんにせよ、独学で自分だけのフラメンコを見つけなければと分かっていたから、スタジオに籠もってひたすら自分自身に向き合ったわ。そんな私に唯一、師と呼べる人がいるとすれば、それはトナね。彼女はステップの基礎的技術からドレスの裾の扱いまで、沢山のフラメンコの踊りに関することを教えてくれたわ。そして、20歳の時、彼女が『私と一緒に日本に来なさい』と、初めて日本に連れて来てくれたの。

「私の中にはいつも既存のものに抗う自分がいて、私には私だけの踊り方があると知っていた。それが運命にせよ、なんにせよ、独学で自分だけのフラメンコを見つけなければと分かっていたから、スタジオに籠もってひたすら自分自身に向き合ったわ。」
Belén Maya

＊ベレンの母親の話題に触れるのはとてもデリケートなことだと思ったけれど、もう少し詳しく知りたくて、『お母さんのことで覚えていることをもう少しだけ、話してくれない？』と再び聞いてみた。ベレンはしばらくだまって考え込んでいたが、やがてそっと目を閉じると涙がその頬を伝った。

ベレン：　一番覚えているのは、母がタブラオに出かける時、おやすみなさいを言いに行った時のキス、その時の母の美しさ、そして香水の香り。母は最高にエレガントで、美しい女性だった。彼女は夜のショーに出演するために出かけ、私は朝早くから学校があるから寝なければならなかった。だから日中に会うことも殆どなくて、私達は本当に少しの間しか一緒にいられなかった。でも、時折タブラオに母の踊りを見に行ったし、あと、そう、ロサンゼルスに1年間、一緒に行ったこともあったわ。母の楽屋に行ってドレスを見たり、他の女性ダンサー達に会ったりする時、すべてが別世界に思えた。女性達はとてもエネルギッシュで、母も家にいる時の母とアーティストの母とでは別人に見えたわ。

エミリオ：　僕の場合、フラメンコギターの師と言えば後にも先にもただ1人、パコ・デ・ルシアだな。初めて彼のギターを聞いた時、その音が心に響いたね。僕は6歳の時からおじいさんの横で小さな椅子に座り、彼が弾くギターの真似をしていた。おじいさんが最初に僕に弦の調律を教えてくれたし、人生最初のギターを買ってくれた。その時から一度も、そのギターを手放したことはないよ。

カルメン：　ところで、ステージに上がるたびに最高の評価を受けている2人に聞きたいのだけれど、フラメンコには、『ドゥエンデ』と言われる、魔法というか、何か不思議な現象があると言われるけれど、おそらく2人はかなりの確率でそれを感じているのではと思うけど、どう？

写真上：Belén Maya
「Ensayo Flamenco
(Carmen Linares)/ 2013年
フランス公演」**PriscaB®**
下：Belén Maya「Tr3s /
2011年フランス公演」**©Jean
Louis Duzert**

＊しばし、2人は黙り込んだ。お互いに見つめあい、そして微笑みがこぼれた。まず、エミリオが口を開いた。

エミリオ：　そうだね。僕もそういう瞬間を感じたことはあるよ。でも、それはめったにないな。僕には、ベレンがその『ドゥエンデ』そのものじゃないかと思うのだけど？

ベレン：　フラメンコ歌手のマイテ・マルティンは『ドゥエンデ』は漫画やテレビに出てくる小人だって、言っているわ。それが本当かどうかわからないけど、私にとっては、基本的な毎日の作業で、自分が信じるものやなりたいもの、そして到達したい場所を目指して積み重ねていくこと、それが『ドゥエンデ』ではないかと思うの。私にみんなの言う『ドゥエンデ』は一度も現れたことはないわ。

エミリオ：『ドゥエンデ』は特別なもので、いつもじゃない。もし今やっていることを心の底から楽しんでいたら、『ドゥエンデ』と言われる魔法が現れる瞬間があるんだ。すごく良い気持ちになって、自分の中から思ってもいなかったものがあふれ出てくる。それこそが『ドゥエンデ』さ。それは本当に思いがけなく現れるんだ。だからこそ、とても稀なものなのさ。

カルメン：　では、フラメンコを職業にすることについてどう思う？

エミリオ：　フラメンコを職業にするなら、常に沢山のフラメンコ音楽を聴き、学ぶことが必要だと思うね。

ベレン：　フラメンコは簡単ではないわ。踊りの技術はとても難しいの。歌とギターの音を聴きフラメンコ独特のリズムを刻むこと、それはとても複雑な作業よ。だから、フラメンコを職業にするのは決して簡単なことではないわ。もちろん、フラメンコを学ぶことはできるけれど、それはプロになるということとは別だと思うの。フラメンコのプロフェッショナルはいつだって練習し、音楽を聴き、そしてスペインに何度も足を運ぶことが必要だと思う。これは日本のフラメンコのプロにとって、とても重要なことよ。

カルメン：　真のフラメンコを理解するにはスペインに行かなければならないということ？

エミリオ：　それが基本だね。

ベレン：　そう、もちろんだわ。そこに行って、聴いて、そして住まなければだめよ。私がフラメンコを始めた時はマドリッドにいたけれど、翌年にはすでにセビージャに住んでいたわ。しばらくはセビージャとマドリッドを行き来していたけれど、いまやセビージャに住んでいる。さらに言えば、グラナダのフラメンコはセビージャのそれと同じじゃない。完全に別物なの。また、アンダルシアのそれぞれの地方のフラメンコもみな違うし、ましてやバルセロナとマドリッドの違いなんて、言うまでもないわ。

カルメン：　フラメンコを理解したいと思う人はまず、どこに行くべき？

ベレン：　もちろん、セビージャのビエナル（フラメンコフェスティバル）とヘレスのフェスティバルね。この2つのフェスティバルはスペイン中から集まった有名アーティストや新人も参加する、最新のフラメンコショーが見られるし、フラメンコの新旧の型が見られるわ。最近では日本のグループもスペインの大きなフェスティバルに参加しているわよね。それから、歌を聴く為にペーニャ（愛好家クラブ）や、田舎の小さなフェスティバルに行くべきね。生のフラメンコの歌を聴くのは大切よ。それから、タブラオ。真に素晴らしいバイラオーラになりたいなら、歌を聴く術を知らなくては。だから、とにかくできるだけ沢山のタブラオに行く。そして、人々と共に過ごすこと。ペーニャや、街角、それからスペイン人の家でね。フラメンコの中で暮らすの。

エミリオ：　フラメンコは独特で、ミステリアスなんだ。だから、フラメンコの拍子や技術を学び、上手に弾いたり踊ったりできたとしても、本場のフラメンコに触れなければ本当のフラメンコを体現することはできないよ。それにはスタジオを飛び出して、スペインに住まなければだめさ。

カルメン：　2人はどんなフラメンコが好き？

ベレン：　私はシギリージャ（神秘的で苦しみの曲種）。上手く踊れてより感情が出せると思うの。あとは、タンゴ（2拍子系の軽快な曲種）を踊るのが好き。この2つは全く対極にある曲だけれどね。

エミリオ：　シギリージャは母なる踊りだよね。ソレア（フラメンコの最も古い形の曲種）と共に、フラメンコの真髄とでも言うか…ある歌詞にあるよね、―シギリージャを歌うと、喉に血が滲む―　この踊りには心の奥底からの叫びが織り込まれているよね。より深い人の悲しみとか…。

カルメン：　では、この数年のフラメンコに関してはどう思う？

ベレン：　カルメン、それは沢山の人に聞かれるけど、特にフラメンコは純粋さを失って、衰えてきているのではないかと言われる。でも、はっきり言えるけれどフラメンコは観客を魅了し続けているし、世界中でフラメンコの教室が開かれ、新しい生徒も増えているわ。決して衰退なんかしてないと思うし、神様のご加護で常に仕事をする機会にも恵まれている。それに、いまやフラメンコは昔には考えられなかったくらい沢山の地域で知られ、門戸が開かれている。これにはイスラエル・ガルバンやロシオ・モリーナと言ったアーティストに感謝しなくちゃね。

エミリオ：　そしてもう1人、ベレン・マジャ、ね。

＊これについては私もエミリオと全く同感である。ベレンこそがその代表であろう。スペインの長い独裁政権の後、民衆が焦がれた自由を歌や踊りで表現したその2人の偉大なフラメンコ革命者の娘がベレンなのだ。そんなすごい人がいるだろうか？でもベレンは極度に控えめで慎み深い女性で、それを語ることはない。

エミリオ：　フラメンコは今、最もいい時期を迎えていると思うよ。ベレンが言ったように、世界中でフラメンコ・フェスティバルが催され、各地でフラメンコ教室が開催されている。そこでは名の知れた革新的なアーテイスト達がさらに他のアーティスト達を刺激している。そして何よ

「"ドゥエンデ"は特別なもので、いつもじゃない。もし今やっていることを心の底から楽しんでいたら、"ドゥエンデ"と言われる魔法が現れる瞬間があるんだ。すごく良い気持ちになって、自分の中から思ってもいなかったものがあふれ出てくる。それこそが"ドゥエンデ"さ。」
Emilio Maya

Belén Maya「Lo Real - Le Réel - The Real(Israel Galván)」
©Javier del Real, 協力:ANegro Producciones

り、僕が来てから今までの日本ではダンスのレベルがものすごくあがっているんだ。

ベレン：　ええ、その通りね。日本にはスペインに次ぐレベルの高いアーティストがいる。日本のバイラオーラは完璧な技術を持っていると思うわ。

エミリオ：　そう、そうなんだよ。最近は東京の高い技術を持ったバイラオーラ達をスペインに連れて行って、そしてフェスティバルに参加し、彼女達と公演をすると、高い評価を得られる。踊りにおいては日本のフラメンコがスペインの次にくるのは明らかだよ。

カルメン：　それなのに、日本のバイラオーラ達は公に認められた資格とか、免状を持つ完璧なプロのバイラオーラ、としては認められていないのよね。

ベレン：　ここでは認められているわ。とりわけ生徒達からはとても尊敬され、愛されている。彼女達は日本では優れたバイラオーラであるし、そして、スペインの経験豊富なギャラの高いアーティストを招くのにお金をかけ、時間もかけてフラメンコに向き合っている。スペインでは、例えばコルドバのフェスティバルみたいに賞を与えられたりもしているわ。彼女達はスペインでも愛されているし、敬意を持って受け入れられているのよ。ただ、それでもなお、スペイン人のバイラオーラが表現するような熱さや、ほとばしる情熱を出すのは外国のバイラオーラには大変。すごく難しいの。それはスペインに生まれ、その環境で育ったバイラオーラとは違うのですもの、無理もないわ。彼女達は技術的には完璧だし、すごく熱心よね。でも自然にその情熱が身体から湧き出るようになるのは難しいことだと思う。とはいえ、フラメンコの衣裳、特にバタ・デ・コラ（フラメンコの裾の長い衣裳）を身に着け、スペイン人バイラオーラのように踊る努力を日々続けている日本人バイラオーラは間違いなく素晴らしいと言えるわ。

カルメン：　ベレン、あなたの場合、偉大なフラメンコのスターを両親に持ったわけだけど、フラメンコを始めた時はどうだった？人々にすぐに受け入れてもらえた？尊敬や、期待されていると感じた？

ベレン：　いや、反対ね。セビージャの評論家たちは私に親の教室を継いで欲しかったのよ。だから、『もし、父上が今の君を見たらなんと言うか？』なんて言いだす人までいたわ。

エミリオ：　それはお父さんのことを知らない人が言う言葉だね。だってお父さんは君のことを、新しい感性を持った別次元のフラメンコを体現できるアーティストだと、すごく誇りに思っている、と常々言っていたからね。これは絶対に間違いないよ。僕は何度も君のお父さんにインタビューをしたことがあるけれど、君のことを聞くたびに、お父さんはすごく嬉しそうにどんなに君のことを誇りに思っているかを聞かせてくれたんだ。彼はいつもこう言っていたよ。『私のベレンはこれ以上褒めようがないぐらい、最高なんだ』ってね。

ベレン：　そうなの？あの頃、みんなが私には出来ないことを求めてきて、私はいつも傷ついて実際どうでもよくなることもあったから、そんな話を聞くと嬉しい…父はそんなこと一言も私には言ってくれなかったもの…もう、パパったら…。

カルメン：　最後に、この日本という全く違う国に来てみて、2人はどう感じてる？

ベレン：　日本では私はとっても幸せで、おだやかな気持ちになれるわ。満たされた気持ちにね。ここの人々とその暮らし方が好きだし、できる限りこの国に通いたいと思うわ。また日本に戻ってくることは確かだし、そして次は何かを創りたいと思う。ここでは芸術的な分野で私ができることが沢山あると思うの。

エミリオ：本当に、ここにはやることがまだ沢山あるよね。

カルメン：　2人の意見に賛成よ。今夜は素敵なひと時を、そしてスペイン情報誌acueductoの読者の為に沢山の話をしてくれてありがとう。

ベレン：　こちらこそ、心から愛する『フラメンコ』のことを話す機会に恵まれて、とても感謝しているわ。

楽しい夕食は終わった。私とエミリオは、ほどなく彼女と再会できることを切に願いつつ、ベレンと別れたのであった。

Carmen Álvarez

都内某レストランにて

Belén Maya

まさしくニューフラメンコの先駆者であり、スペイン中のフラメンコ界とダンスアーティスト達の中で、最も世界的な舞踊家の1人である。世界各地のフラメンコ・フェスティバルに参加し、教室ではスペイン内外のプロダンサー達にその技術を伝えている。マリオ・マジャ、カルメン・モラという2人の偉大なフラメンコ舞踊家の娘として生まれた彼女は、ソリストとして、また他のダンサーとのコラボレーションとして自らのショーに出演し、革新的なダンサーを育ててきた。現在もスペインフラメンコ舞踊家の第一人者であり続け、自身のダンスカンパニーと、また他の有名な舞踊団と共に世界各国を巡っている。（現在はフラメンコダンサー、イスラエル・ガルバンのカンパニーと共演している。）　写真：**©Jean Louis Duzert**

Emilio Maya

8歳の時よりギターを学び、12歳でグラナダ県のランハロンのギターコンクールで最優秀賞を受賞。その後、アンダルシア地方の各地ペーニャ・フラメンカ等で活躍し始める。また音楽コラボレーションとして、オルケスタ・アンダルーサに参加し演奏家としての才能を発揮、その後待望のファーストアルバムCD「テンプレ」もリリース。彼自身が率いるグループ「グルーポ・マヤ」はヨーロッパ各地で活躍し人気を博している。近年ではメキシコ、ベルギー、パリで公演を行い、2009年より定期的に日本にも来日。2011年より日本に在住。恵比寿にあるフラメンコライブレストラン「サラ・アンダルーサ」のライブに定期的に出演しながら、フラメンコギターの教授活動も精力的に行っている。

Carmen Álvarez

１４歳の時にマラガ音楽学院に入学、ダンスを学ぶ。卒業後、マドリッドのダンスカンパニーの一端を担うようになり、自身最初の南米ツアーでは『カルメン』に出演。その後、コンテンポラリー・ダンスを勉強。イギリス、フランス、スイス、ドイツでフラメンコの指導にあたる。現在では日本でフラメンコのダンスと歌を指導。また、グラナダのcueva（洞窟の意。フラメンコショーを上演するレストランや酒場がある。）の一角に自身のダンススタジオ『Cueva de la Luz：クエバ デ ラ ルス』を所有している。
URL：www.carmenflamenco.com

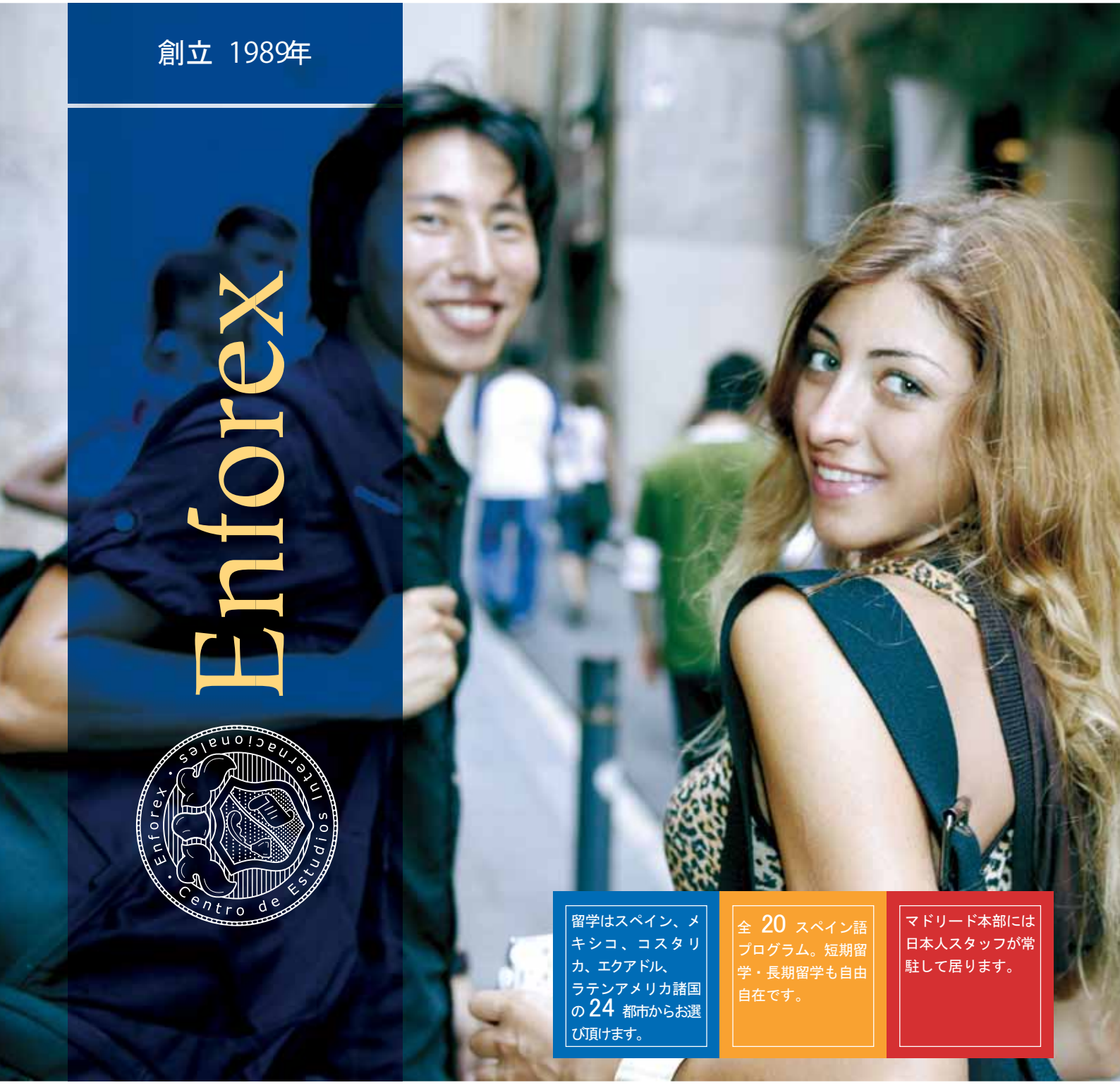
www.enforex.com

スペインとラテンアメリカにて

最先端を行くスペイン語学校

創立 1989年

Enforex



留学はスペイン、メキシコ、コスタリカ、エクアドル、ラテンアメリカ諸国の24都市からお選び頂けます。

全20スペイン語プログラム。短期留学・長期留学も自由自在です。

マドリード本部には日本人スタッフが常駐して居ります。

認定校: Instituto Cervantes Centro Acreditado

ヘッドオフィス

Gustavo Fernández Balbuena,11 | 28oo2 Madrid

Phone: +34 91 594 37 76

Fax: +34 91 594 51 59

E-mail: asia@enforex.es

ideal education group

グラナダ | マラガ | マルベーリャ | サラマンカ | バレンシア | アリカンテ | バルセロナ | マドリッド | セビーリャ | テネリフェ （スペイン）

アルゼンチン | ボリビア | コロンビア | コスタリカ | チリ | キューバ | ドミニカ共和国 | エクアドル | ガテマラ | メキシコ | ペルー （ラテンアメリカ）

＼今年もやります／

スペインフェア
協賛者募集のお知らせ

毎年大勢の来場客でにぎわうスペインフェア。今年も開催決定！
一緒にスペイン文化の発信を盛り上げてくれる仲間を募集します。

日程 / 場所	**2015年11月14日（土）** **フレンテホール（西宮）にて開催**
スペインフェア 概要	様々な面を持つスペインという国を紹介するイベント。スペインの文化（アートやダンス、映画、スペイン関連の講演会等）の紹介や、スペイン語の書籍・雑貨の展示販売、スペインの食べ物や飲み物の販売等を通して、関西のスペイン愛好家に、スペインに関わる様々な企業や試みの存在を紹介するためにスタートいたしました。
協賛者募集	「スペインフェア」は、毎年たくさんの関西のスペイン愛好家にご来場いただいております。スペインの文化紹介やスペイン関連商品の販売など、スペインに関する企業様の宣伝に役立てていただける絶好の機会です。 <具体的には> 会場でスタンドを設置し、商品の展示や販売、フライヤー等の配布、宣伝活動にお使いいただけます。またプログラムに講演やセミナーの時間を設けることもできます。 <協賛特典> 会場でのチラシ設置・PRや、ホームページやスペイン情報誌acueductoへの広告・協賛者名・ロゴの掲載等。　※その他の協賛方法にも柔軟に対応
会場への 広告設置募集	スペインに興味をお持ちの来場者の方に貴店の宣伝をしませんか？会場内には情報コーナーを設け、色々なチラシを設置します。スペインに関する情報をお探しの方に知ってもらえるチャンスです。

スペインフェア2014の様子

京都外国語大学で行われた2014年のスペインフェア。会場では、大きな鍋で作る本場のパエリアや生ハムが大人気。スペインのビールやワインも豊富に取り揃え、スペインの食を満喫。またスペインタイルのワークショップや毎年恒例のスペイン関連書籍の販売コーナーも盛況でした。一方、構内の講堂では、関西の人気フラメンコ教室が集まり、フラメンコショーを開催。フラメンコギターの音色と力強い踊りが会場を盛り上げました。

お問合せ：有限会社ADELANTE
大阪市北区梅田2-5-8千代田ビル西別館2F　TEL: 06-6346-5554　www.spainfair.jp

Asociación Cultural Española
スペイン文化協会
Enforex
donQuijote

ブドウ色の地図から
スペインワイン
よもやま話

vol.4

ナバラに生きる人々

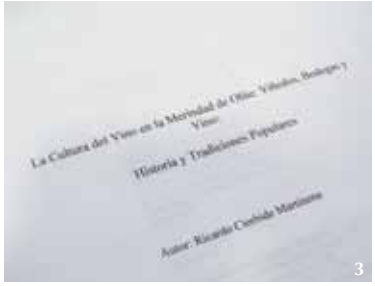
「新しい」という言葉には魔力があります。とりわけ近年のスペインの「新しいワイン」は色々な意味で新しいので、いやでも興味をひきます。今まで無名だった産地。デビューしてまもない作り手。最新の技術で作られたボデガ。ほとんど絶滅しかけていたのに再デビューした、聞いたこともないブドウの品種…。気になることは、沢山あります。

しかし、ワインの世界にもれっきとした「老舗」があります。蔵を守り銘柄を守り、そのなかで新しい技術や進歩も取り入れて時代とともに進んでいこうという人たちが、方々の産地にいるはずです。しばらくぶりに「老舗」を訪問したいな、と思ったのは、最近訪れたボデガがどこも比較的新しくて、興味深くはあっても歴史の重みというものには欠けていたからかもしれません。

歴史ある老舗。できれば、ひとつのファミリーが守り育ててきているボデガ。そんなところを訪問したいと思っていた私に、ナバラの老舗から招待がありました。早速ナバラへ。ヘミングウェイが愛した緑豊かな北スペインへと、出発です。

ナバラはバスク地方の南側に繋がる南北に細長い地方です。バスク語を思わせる地名やバスクベレーをかぶったおじいさんたちを眺めながら国道を南下していくと、緑の濃い沃野がいきなり険しい山地へと変わり、さらには砂漠まで出現して旅人を驚かせます。やがてアラゴン地方に近づくにつれて、いつの間にか湿潤な北部から乾いた中央部の大地へと進んできていることに気がつく・・・。ほんの100キロあまりのあいだに、こんなに変化にとんだ気候風土を見せてくれる地方も珍しいでしょう。

ナバラははるか昔から農業が盛んで何世紀も前からワイン作りが始まっていたという記録もありますが、リオハというスペイン随一の高級ワイン産地と、人気産地リベラ・デル・ドゥエロとにはさまれて、近年までいささか陰の薄い印象は拭えませんでした。ところが、最近では事情が変わって来ました。いくつかの老舗ボデガの努力が報われて、「ナバラには非常に上質のワインがある」という評価が定着してきたのです。今日訪問するのも、その新しい波の頂点にいる老舗のひとつです。



オリテという古いお城で知られる町を過ぎるとまもなく、雨上りの光に照らされたどっしりとした構えのボデガに到着。私を迎えてくれたのはオーナーの娘さん、アドリアーナでした。

このボデガは、5代前からワインの仕事を引き継いで来た当代のハビエルをしっかりと家族でもり立てている、文字通りのファミリービジネスです。そのなかでアドリアーナは、エノロガ（女性ワイン醸造家）として、ボデガの明日を担っている重要な存在なのです。

最近のスペインでは優れたエノロガが珍しくなく、最新の知識と技術、女性ならではの感性や細やかさなどを組み合わせて、素晴らしいワインを発表していますが、アドリアーナもその1人。つい先日も、女性醸造家を紹介する新聞記事のなかで、その実力が大きく評価されていました。

お父さんから引き継いだ技術やポリシーは大切にしながら、自分ならではの世界を築きつつあるアドリアーナに、私は思わずサン・セバスチャンのエレナ・アルサークの顔を思い浮かべました。スペイン料理界を担ってきた父ファン・マリの名声にも力量にも圧倒されずに、むしろ父の世界を巧みに土台にして自分の料理の世界を展開してきたエレナの、いつもさわやかな笑顔を。

スペインの女性たちは、やっぱりすごい。素晴らしい。アドリアーナだけではありません。広報を担当して「私のホームページがなくちゃ、お姉さんのワインも売れないでしょ！」と張り切る妹のベアトリスも、「家になんか引っ込んでいられないわよ、私が銀行や帳簿の仕事をしなきゃ、うちの残りの家族はみんな数字に弱いんだから」と威勢よくでかけていくお母さんのマリビも、みんなキラキラしていてパワフル。こういう女性たちが頑張っている限り、スペインの不景気もなんとかなるのではないか、と思いたくなるようなエネルギーです。

アドリアーナの案内で、雨上りの畑にでかけました。運転しながら、彼女のワインの話が始まります。

「私、毎年あらためて自分のワインに惚れ込んでいる気がするの。去年のワインが出来たときには、なんて良いワインが出来たんだろうとうっとりしたわ。でも今年のワインが出来てみると、もっと素敵なの！なんて奇麗な色だろう。なんていい香りだろう。本当に毎年、前より夢中になってしまうの…」

アドリアーナはそういって、本当に嬉しそうに笑います。エナモラールという言葉は、男女が夢中で好きになることを指すのが普通ですが、彼女が自分のワインにエナモラールしている、と言うとき、彼女のワインへの熱い思いがとてもよく伝わってきます。こんな風にワインを愛する娘が育ったのは、彼女のお父さんも、ワイン作りに単なるビジネスというだけではない愛情を持って来たからだろうな、と感じさせてくれる笑顔です。

1. 親子でワイン醸造家として活躍する、ハビエルとアドリアーナ
2. 上質のフレンチオークの樽が並ぶ、清潔なボデガの内部
3. ナバラワインの歴史研究の文献
4. 収穫した品種、畑、日にちなどが記載されている原酒タンクのラベル
5. 歴史を物語る、年代物のワイン
6. アドリアーナとベアトリス姉妹

畑でも、彼女の夢はとどまるところを知りません。
「この辺に、ボージョレーみたいに、試飲するスペースを造ったらいいと思うの。ガラス張りの東屋で、畑を見ながらの試飲。いいと思わない？できたら料理も出したいわよね…。マリ、協力してみない？」
こちらまで、思わず引き込まれるようなアドリアーナの生き生きした話しぶり。私は思わず、「あなたがテイスティング東屋を造るときには、私が日本風のピンチョスを考案してあげるわ！」などと約束していました。

このボデガでは最近、良質のオリーブオイル造りも始めました。ワインと同じコンセプトでオリーブオイルを作るというのは、昨今のスペインの流行ともいえますが、とても理にかなった発想なのです。品種と土壌の組み合わせを考えることも、収穫期を的確に判断することも、収穫した果実を果汁にして、その個性で最終的なクパージュ（ブレンド）を考えていくことも、ワインとオリーブオイルに共通した作業なのですから。オリーブの畑もブドウ畑と同じようによく手入れされて、銀色の葉がキラキラと輝いていました。

ワインのテイスティングには、お父さんのハビエルも参加してくれました。
「こうなると、お父さんのワインを出さなくちゃね！」
とお茶目なベアトリスが笑います。テンプラニージョの端正なすっきりした味わいに樽熟成のまろやかさを加えたハビエルのワインには、さすがナバラのトップブランドらしい安定感があります。いつでも、どんな料理にも合わせて飲みたくなる安定の味です。

一方、今まで脇役でしかなかったグラシアーノを単品種で仕上げたアドリアーナのワインは、のびのびとした荒削りなまでの生命力とスパイシーで若々しい香りの第一印象が鮮やかで、一見地味なのに通りすがりの人をあっと振り向かせる若い美女のような、さわやかな魅力があります。そう伝えると、すかさずベアトリスが「そりゃあそうでしょ、若い美女が作っているんだもの！」と混ぜっ返します。

第一印象だけでなく、立体的な長い余韻も口のなかで広がるさらにスパイシーな味わいも、時が経つとより素晴らしく熟成するだろうなと予感させてくれるワイン。私はハビエルに言いました。
「あなたのワインも素晴らしいけれど、ワインよりもっと素晴らしい娘さんを作りましたね！」
ハビエルは頷いてにっこりしました。
「もちろん、私の最高傑作は、この二人の娘だからね！」
そのアドリアーナのワインが「ミル・グラシアス（沢山のありがとう）」と名付けられていることにも、私は父と娘の見事なフットワークとお互いへの敬意を垣間見る思いがしたのでした。

1. 2. 所有するブドウ畑。見事な手入れが際立つ。 3. 高台から見下ろす、ブドウ畑とオリーブ畑。 4. 人気のラインアップを試飲。

1. メインのハトの料理をワインにあわせて。
2. コルドを囲むファミリー
3. ナバラの名物料理、アーティチョークのフライ
4. 伝統的なアホ・アリエロ
5. コルドの代表作のひとつ、「ジャガイモのトルティージャ、ロデロ風」

アドリアーナのワインと合わせる食事をどこでしたいかと聞かれて、私は迷わずコルドの店を指定しました。もう随分前にパンプローナへ取材に訪れて以来、私のお気に入りのシェフの1人であるコルドのレストラン。ただ単に彼の料理が目当てではなく、コルドの家族に再会したいと前から思っていたのです。

当時、父親から受け継いだレストランを、より新しくエレガントな店に展開しようと頑張っていたコルド。サロンで手伝う、まだ若い妹のベロニカ。そして食堂の奥で、彼らを見守るお父さんの姿が、私のまぶたに浮かんできます。テーブルにご一緒させてもらった私に、お父さんは昔語りをしてくれたものです。

「私はミラグロの出身だ」

というお父さんの言葉に、私が

「あ、サクランボで有名なミラグロですね？」

と答えるとお父さんがとても喜んで、

「あんたは日本から来たのに、ミラグロのサクランボを知ってなさる。嬉しいねえ」

と繰り返し言ってくれたのを、昨日のことのように思い出します。

そして今、昔と変わらない笑顔で、コルド一家が私を迎えてくれました。懐かしいお父さんは1年前に亡くなられたそうですが、家族は今もしっかりとチームを組んでいます。以前はまだ学生気分の抜けなかったベロニカが、今ではベテランとして、コルドの奥さんと一緒にお店のサービスの先頭に立っています。そして、ナバラの大地の香りのする力強い料理に、新しい技術を何気なく加えて構成したコルドのメニューには、パンプローナをリードする実力派シェフらしい迫力がみなぎっています。

しっかり進歩している。でも、足が地に着いた堅実さを失っていない。そんな、コルドの人柄をそのまま表現したような料理の一皿一皿を、私は心ゆくまで楽しみました。

軽やかで遊び心のあるオードブル、非の打ちどころのない伝統料理アホ・アリエロ、クラシックなソースを巧みにアレンジしたジビエ。それらの料理に、同じ土地から生まれたワインがぴたっと寄り添います。とりわけ、ナバラのワインにしてはくっきりと熟成感を打ち出したオチョア・ファミリーの赤ワインは、コルドのメインディッシュに絶妙のインパクトを加えてくれました。

父から息子へと受け継がれた料理。父から娘へと受け継がれたワイン。ナバラの食卓は、豊穣の大地に育まれた2組の家族それぞれの絆が生み出す、暖かな力強さに満ちていました。

ワインを作る人たちも料理を作る人たちも、彼らの生きる大地に支えられている。大地の豊かさが、この地の人々の表情をゆとりあるものにしている…。そんなことを再確認させてくれたナバラへの短い旅でした。皆さんも、ナバラの食とワインを訪れる旅、いかがですか？

Información

今回訪れたボデガ

Bodegas Ochoa
C/ Miranda de Arga 35
31390 Olite (Navarra)
Tel: +34 948 740 006
Email: info@bodegasochoa.com
HP: www.bodegasochoa.com

レストラン

Restaurante Rodero
C/ Emilio Arrieta 3
31002 Pamplona (Navarra)
Tel: +34 948 228 035
HP: www.restauranterodero.com

渡辺万里　わたなべまり / Mari Watanabe

学習院大学法学部政治学科卒。1975年よりスペインで食文化史の研究に取り組むと同時に、スペイン料理界最前線での取材に従事する。1989年、東京・目白に『スペイン料理文化アカデミー』を開設。さらに各地での講演、執筆などを通してスペイン文化の紹介に携わっている。早稲田大学文化構想学部非常勤講師。著書に「エル・ブジ究極のレシピ集」（日本文芸社）、「修道院のうずら料理」（現代書館）、「スペインの竈から」（現代書館）など。

＜スペイン料理文化アカデミー＞
スペイン料理クラス/スペインワインを楽しむ会/フラメンコ・ギタークラスなど開催
〒171-0031 東京都豊島区目白4-23-2　TEL: 03-3953-8414
HP: www.academia-spain.com

スペインを代表するプレミアムビール『マオウ』

mahou【マオウ】

現在のマオウの始まりは、1890年にマオウ家によって創業されたビール工場「イホス・デ・カシミロ・マオウ」にあります。今も変わらずマオウ家がオーナーです。マオウのプレミアムビールは得難く深い味わいで人気を博し、ヨーロッパ第4位のビール消費国スペインで、リーダー的存在であり続けています。

120年以上守られ続けている味

マオウの代表的ビール『マオウ・シンコ・エストレージャス』と『マオウ・ネグラ』の味は、120年以上も前の1890年につくり出されました。それから、1897年ブリュッセル万国博覧会にて優秀賞受賞（ゴールドメダル）と、1900年パリ万国博覧会にて優秀賞受賞（ゴールドメダル）を受賞し、その当時と変わらない原材料と同じ製造方法を現在まで守り続け、世界中で愛されるビールとなっています。

＜受賞歴＞
1897年
ブリュッセル万国博覧会　優秀賞受賞（ゴールドメダル）
1900年
パリ万国博覧会　優秀賞受賞（ゴールドメダル）

1

2

1. 1920年から1930年にかけて使用された『マオウ・ネグラ』のラベル。受賞メダルのデザインがあしらわれている。
2. 1930年から1940年にかけて使用された『マオウ・シンコ・エストレージャス（マオウ・エスペシャル）』のラベル。こちらも受賞メダルのデザインがあしらわれている。

マオウ・シンコ・エストレージャス

『マオウ・シンコ・エストレージャス』は生活を楽しむ最高のビールとして1969年に発売されました。
マオウの所在地であるマドリードで暮らす人たちは、日々の暮らしをとても楽しんでいます。スペインは料理の選択肢も豊富で数々のタパスと一緒にお酒を飲みながら食事の時間をエンジョイしています。スペインで親しまれているお酒といえばワインも有名ですが、ビールも生活の中で身近に愉しまれています。マオウ・シンコ・エストレージャスは、そんなマドリードを代表するビールです。

マオウは、サッカーレアルマドリードC.F.のオフィシャルスポンサー

マオウは世界3大サッカーリーグの一つである、リーガ・エスパニョーラのオフィシャルビールです。
また、サッカー史上最強チームとも形容される『レアル・マドリードC.F.』のオフィシャルスポンサーでもあります。
マオウは最良のクラブスポンサーとして、200ヶ国以上の人々から認められています。

マオウ・シンコ・エストレージャス レアル・マドリードC.F. 特別限定アルミボトル

マオウ・シンコ・エストレージャスの特別デザインボトルを数量限定で販売中です。
白色にドレスアップしたアルミボトルには、レアルマドリードC.F.の7人の選手のイラストがあしらわれています。

限定ボトル

Mahou ★★★★★

ビール/ユーロペールラガー
5.5% Alc./Vol.
330ml

最良のホップ・イーストを使い、軽やかなアルコールのピルゼンタイプビールで、類まれな味わい・程よいボディの高品質のビール。
バランスのとれた苦味、ホップが渇いた喉に、心地よさと開放感を感じさせてくれます。

マオウ・ネグラ

マオウの黒ビール。
デザートやスナックと共に、食後のひとときをゆっくりと愉しめる、リッチでゴージャスな味わいの黒ビールです。スタイリッシュなボトルも魅力です。

Mahou NEGRA

ブラックコーヒーを思わせる色合い。ひまわりの種・黒オリーブをローストした香りやわずかにリコリス（甘草）の香りが感じられます。
ブラウンシュガーをローストした感覚を思わせる深みとコクがあり、バランスよく、飲み口の良い柔らかさを堪能できます。

ビール/ダークラガー
5.5% Alc./Vol.
330ml

マオウ・ミクスタ、ついに日本上陸！

2015年2月、マオウから『マオウ・ミクスタ』がついに日本に上陸しました。
マオウ・ミクスタは、ビールとレモン風味の炭酸飲料をミックスしたビアカクテルです。
ビールをレモン風味の炭酸飲料で割ったビアカクテルは、国ごとにいくつかの呼び方があります。

- ・シャンディ：イギリス
- ・パナシェ：フランス
- ・ラドラー：ドイツ
- ・クララ：スペイン

スペインでは“クララ”という名前で呼ばれています。
『マオウ・ミクスタ』は、スペインビール業界のトップリーダー、マオウが提案する“クララ”です。

MixTa SHANDY Mahou

炭酸飲料
0.9% Alc./Vol.
330ml

レモンの爽やかな酸味と甘味に加え、ビールらしい穀物の香りがほのかに感じられます。後味は、甘酸っぱく、すっきりとしたシトラスの風味が持続します。

甘酸っぱくフルーティー、爽やかにエンジョイできるビアカクテル

フルーツなどの味と香りが愉しめるフレーバービールやビアカクテルは、女性に大人気です。『マオウ・ミクスタ』は、レモンの甘酸っぱさが爽やかで大変飲みやすく、ビールの苦みが苦手な方にもおすすめです。
また、レモンのすっきり感とフルーティーな甘味は、春から夏の季節にぴったりです。
低アルコールでありながらもビールらしい穀物の香りもきちんと感じられます。お酒は飲みたいけれど強いアルコールは控えたいときに、パーティの乾杯用に、翌日が仕事の日の晩酌に、…さまざまなお酒や食事のシーンにもマッチします。

KIMURA
株式会社キムラ
TEL.082-241-6703　FAX.082-241-4375
広島市中区羽衣町13-12　http://www.liquorlandshop.com

71年当時のスペインは、夜間、女性の一人歩きは何ら問題ない程安全だった。今でも変わらないが、居酒屋が連なるメソン街では夜明けまで賑わいを見せ、フラメンコの最終は日付が変わってからである。それから帰宅となるとピソの門扉は閉じられている。日中管理人が常駐しているが、夜間は扉を施錠して各自宅に戻る。そこで開錠するには人の手が必要となる。両手を大きく叩くとセレーノ（夜警）が腰に周辺地域の鍵をぶら下げて、カチャカチャ音を立ててやってくる。近くにいる時は良いが遠くで対応している場合はかなり待つこととなり、その日の運次第である。料金は1ペセータ（5円）。今では電子ロックになり、彼らの姿は見ない。　写真（左から時計回り）：セビージャ花祭りでの女性／バルセローナの広場でサルダーナに興じる人／プラサ・マジョールのペア／典型的なスペイン美女

美人の国スペイン

数十年前の思い出

♪横浜の波止場から船に乗って。着いたのはアメリカではなく、旧ソ連のナホトカだった。モスクワ、ウィーン、ローマを経由し、やっとマドリッドに到着したのが真夏の太陽が照りつける1971年8月だった。

目的は写真撮影とスペイン語の習得で二兎を追ったが、結果は諺通り。後年、夢破れ、食いはぐれるようになるとは知る由もなかった。着けば何とかなるだろう。なんせマニャーナ セラ オトロ ディア（明日は明日の風が吹く）の国である。

まずは、ねぐらを探しに、日本人がたむろするユースホステルに行き情報を収集する。そこで経験したのは、驚きのメロンの味だった。ラグビーボールに似た出来損ないのカボチャのようで、決して美味しいというイメージではなかった。生の大根をかじる決意で食べると、それがメチャ甘い！スペイン最初のビックリだった。見かけ倒しの人や物がゴマンとあるこの世で、これほど見かけと違う物は少ないと思う。いわば逆「見かけ倒し」とも言えるだろう。幸いにも2泊目で1人の日本人と出会い、彼がいるレシデンシアに空部屋があるので来てみないかとの話になり移ることにした。やはり何とかなるものである。

紹介されたレシデンシアはメトロのテトゥアンから徒歩5分ぐらい。1部屋に2段ベッドが2台置かれていて定員が4名だったが贅沢は言っていられない。ドアもなく、8人部屋に区切っただけのユースホステルに比べたら天国である。それに盗難の危険性もあった。

テトゥアンから地上にでると、ブラボ・ムリージョ通りだ。北へプラサ・カスティージャ方面に歩くと、卵を細長くしたような、当時は流線型の路面電車が走っていた。モンクロアからの市民の足である。プラサ・カスティージャ周辺には空地

フランコは75年に死亡したが、政権末期になるとストやデモが多発。銀行に少ない金を引出しに行ったらストの為引出せず翌日に行ったことがあった。Huelga（スト）という単語はその時覚えた。デモは日中、路上でも活発だ。マドリッド大学ではポリスが頻繁に出動していて、若者を中心に言論の自由を始め、独裁で長年封じ込められていた殻を破ろうとする胎動が感じられ「スペインが変わる」予感がした。　写真（左から時計回り）：路上で遊ぶ子供／バルの前を通る女性／プラサ・マジョールにたむろする若者／ラストロ（蚤の市）に来る客／路上の靴磨き（カフェテリアや街中で多く見られた）

が目立ち、建設中のピソ（マンション）が多く、どこかの再開発地帯だった。南に向かうと右（西）側にHIROSHIMAのカフェテリアの看板が目につく。日本人の経営ではないが、どこか親しみを感じるものである。セントロのソルへも1時間も歩けば着くので街歩きには最適だ。疲れたら至る所にあるバルかカフェテリアで休めばよい。カフェの椅子に座って通りを眺めるのも楽しい。

ビゼーの歌劇のヒロイン・カルメン似の美人がゴロゴロいるからである。第2のビックリだ。真っ赤なバラを口に銜えて歩いているわけではないが、どこかエキソティコ。心が吸い寄せられる様な魅力を宿している。

白人、金髪、碧眼、やや細身で長身（所謂ナイスバディー）それに高い鼻。これが一般的な美人の方程式だが、スペイン女性に関しては異次元の方程式が当てはまる。長いイスラムの支配下でアラブとの混血がすすみ、頭髪は黒か茶、瞳も同じ。背丈は日本人と同じ位だからそれほど高くはないが、鼻は高い。ただ、高すぎても気味が悪い。包丁片手に「今日は誰を料理しようか」とほくそ笑んでいるヤマンバか魔法使いの婆さんを連想するからである。何事もほどほどにということか。

酒が美味いのもスペインだ。種類も豊富で、ワインを筆頭にブランデー、ビール、シェリー酒が有名である。特にワインメーカーは掃いて捨てるほどあり、中には「捨てちゃいやよ」と一所懸命努力していて、美味しいワイン造りの原動力になっているボデガもある。マラガのモスカテル、ガリシアのリベイロ等マイナーなワインもあるが、一推しはリオハであろう。土壌と気候、葡萄の品種がマッチした最高級のワイン生産地である。酒は美味しいしネエチャンはキレイ。気候も一部を除いて過ごしやすく、ノンベーとスケベーには心休まる国だ。

メロンを始め果物は美味しい。決して観光局の回し者ではないが、一度スペインへ行くことを薦めたい。一度行った人は二度三度。そこには新しい出会いが待っているはずである。

松ノ川 タケシ
まつのかわたけし ／ Takeshi Matsunokawa

1946年生まれ。1971年～1975年までスペインに滞在。その後2度スペインに滞在。趣味はピアノを弾くことと聴くこと。好きな曲はショパンのノクターン2番・サティーのジムノペディ1番。京都府木津川市在住。

International House Valencia

ESPAÑOLÉ

MUCHO MÁS QUE ESPAÑOL

バレンシア

¿イメージできますか?

最高のスペイン留学がかなう場所

バレンシアの中心地の
フレンドリーな語学学校

ショッピング、スペインバル、サッカー、
ビーチ、パエリヤ、歴史と文化…

Instituto Cervantes
Centro Acreditado

La Nave 22
46003 Valencia
Pizarro, 10
46004 Valencia
SPAIN

+34 963 530 404
info@ihvalencia.com
www.ihvalencia.com

スペインサッカーを巡る 第9回

指導者育成システム

今年1月に行われたアジア大会の結果は残念でしたが、日本のサッカーはこれからも戦い続けていくのでロシアワールドカップに向けてしっかりとした準備が必要だと感じます。

さて、前回の記事でスペインの指導者育成システムとサッカーにおける競争原理がスペインのレベルを高めており、5月号でそれについて深く掘り下げると書かせて頂いていたので、今回はスペインの指導者育成についてお伝えしたいと思います。

まずは、指導者ライセンスについて書きたいと思います。日本のサッカーライセンスは大きくC、B、A、Sと4段階に分かれていますが、スペインでは、レベルI、レベルII、レベルIIIと大きく3段階になります。レベルIから始めてレベルIIIまで取得すると、プロのチームを指導できるようになります。更にスペインの指導者資格の凄いところはスペイン協会の発行するライセンスのレベルIIIを取得すると、UEFA（ヨーロッパサッカー協会）プロの資格も同時に得られ、スペインだけでなくヨーロッパ全土（UEFA加盟国）で通用する資格になるのです。

では何故その指導者育成システム、ライセンスシステムがスペインサッカーの強みなのかというと2つ重要な点が上げられます。
1つ目は、学校で指導者を育成する講師陣が元プロ又は現プロの指導者であるということ。私はバレンシアの指導者学校にしか行っていないので、他の地域については詳しくわからないのですが、バレンシアでは元プロ監督、フィジカルトレーナーとして活躍されていた方々が技術、戦術、フィジカルトレーニング、チームオーガナイズ、指導方法論の指導にあたり、医学系はプロチームのチームドクターが、ルールについてはFIFA認定の国際審判員の方が指導にあたっています。元プロ監督としての経験を授業中に色々と話してもらえるので、授業だけでなく雑談や質問の中から多くのことを学ぶことができ、卒業後も色々と相談にのってもらえるので、受講者にとっては大きな財産となります。

2つ目は、条件さえクリアすれば誰でもライセンスが取れるということです。レベルIIIを取得するにはレベルIIをクリアし、更に半年以上第一監督としてチームを率いた経験があれば基本的には資格取得のための講義を受講できます。要は、指導者として活動していれば基本的に誰でもレベルIII（プロまで指導できるライセンス）の受講資格を得られることができるのです。

そのような背景からスペインにはレベルIII保持者が多く、高いレベルの授業を受けた指導者が多いということが強みであると言えます。さらに言えば、スペインサッカー界の実力主義の厳しさがより指導者のレベルを高めているとも感じています。スペインでは、ライセンス取得後チームに帰れば、各カテゴリー（小学校低学年～高校生、アマチュア）でプロと同様に年間を通してのリーグ戦が行われているため、レベルIIIを持っていようがレベルIIであろうが、その結果と選手の成長度で評価されてしまうという現実があります（ライセンスレベルによって、教えられるカテゴリーに制限があります）。例えば、レベルIIIを持っていても、結果が出なければリーグ途中でも解雇、レベルIIでも成績が良ければ続投（私のクラブでも高校生トップカテゴリーの監督が成績不振を理由に解雇されました）。更にリーグ終了後、選手の成長が見られず、上のカテゴリーに選手を供給できなければ指導者として評価が低くなる、というように常に評価に晒されています。スペインにおいて、ライセンスは通行手形ほどの効力しか無く、後はプロと同様に現場でどれだけ評価を得られるか、それがスペインでの監督の仕事になってきます。またリーグ戦の環境下ではプロ同様、毎週末に試合が組まれているため、毎日、毎週、選手、チーム、自分とどれだけ向き合って、悩んで、解決をしていくかが鍵になってきます。そういった戦う環境で揉まれ、打ち勝ってきた監督のみが高いレベルでの指導を行う権利を得ることができるため、選手だけでなく監督も競争の中で休むことなく勉強を続けていかなければなりません。

上記した2点で分かることは、日本でも指導者が勉強を続けることができ、また緊張感があるリーグを体験できる環境づくりが必要ではないかと思っています。アギーレ監督解任後、日本人監督が1人も上がらなかったことも考えると、そろそろ本気になって指導者育成方法を考える必要があるのかも知れません。

文・尾崎剛士
イラスト・Jesús Martín

尾崎剛士　おさきつよし / Tsuyoshi Osaki

30歳、愛媛県出身。2006年まで筑波大学蹴球部にて選手、少年サッカー指導者として活動。引退後は大学院に進学、その後就職し、サッカーの現場から2年離れる。2010年から町田高ヶ坂SCにて指導を再開。2011年10月にバレンシアに渡り、育成年代のコーチを経て、2014-15シーズンは、アルボラヤUDでユースBチームの第二監督、U-8の監督を担当している。

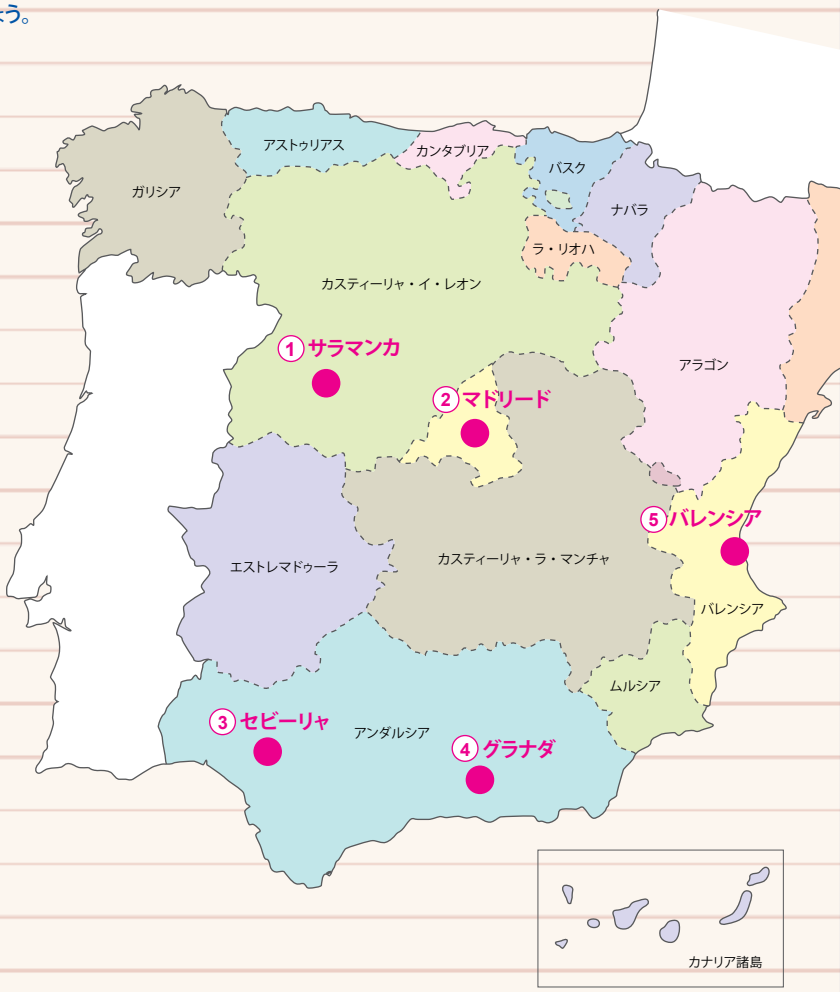
スペイン＆中南米への留学相談、手続き代行無料サービスのスペイン留学.jp

スペイン留学ガイド

www.spainryugaku.jp

地方ごとに異なる特色を持った魅力溢れる国、スペイン♪
あなたはスペインと言ったら何を思い描きますか？
フラメンコ、サッカー、闘牛、白い家、サグラダ・ファミリアなど…
お気に入りの街が見つかれば、より充実した留学生活になることでしょう。
留学準備の第一歩は、学校を探すことから始まります。
ここでは、代表的な留学先をいくつか紹介していますが、
この他にも多くの学校をご用意しております。
まずは、電話やメールでご相談下さい。
スペイン留学．jp では、カウンセリングを行い、
一人一人のご希望に合った学校を提案いたします！

※料金は 1€＝130 円で計算した 2015 年 5 月のものです。
入学金や宿泊先斡旋料、夏期料金などが加算される学校もございますので、詳細につきましてはお問合せ下さい。



① サラマンカ Salamanca

1218 年に創立されたスペイン最古の大学がある学生の街。カテドラル、大学、貝の家、マヨール広場など美しい建物が多く、旧市街全体が世界遺産に登録されています。

colegiodelibes

＜コレヒオデリベス＞

	2 週間あたり	24 週間あたり
一般集中スペイン語コース（20 時間 / 週）	346 € / 44,980 円	2.880€ / 374,400 円
ホームステイ（個人部屋 /2 食付）	280 € / 36,400 円	3.360€ / 436,800 円
共同アパート（個人部屋 / 食事なし）	210 € / 27,300 円	1.860€ / 241,800 円

② マドリード Madrid

プラド美術館や王宮など見所いっぱいの活気溢れるスペインの首都。休日にはショッピングやバル巡り、アート観賞を楽しむことができます。スペインの中心に位置するマドリードは他の都市へのアクセスも良好です。

Enforex

＜エンフォレックス　マドリード校＞

	1 週間あたり	24 週間あたり
一般集中スペイン語コース（20 時間 / 週）	310€ / 40,300 円	3.240€ / 421,200 円
ホームステイ（個人部屋 /2 食付）	229€ / 29,770 円	5.496€ / 714,480 円
共同アパート（個人部屋 / 食事なし）	175€ / 22,750 円	3.360€ / 436,800 円

③ セビーリャ Sevilla

太陽と青い空が似合うスペイン南部、アンダルシア地方にある街。バスや電車で少し足を延ばすと、まるで絵ハガキのような白い村が点在し、陽気でのんびりとした空気を肌で感じることができます。

clic

＜クリック IH　セビーリャ校＞

	1 週間あたり	24 週間あたり
一般集中スペイン語コース（20 時間 / 週）	180€ / 23,400 円	3.600€ / 468,000 円
ホームステイ（個人部屋 /2 食付）	160€ / 20,800 円	3.840€ / 499,200 円
共同アパート（個人部屋 / 食事なし）	100€ / 13,000 円	2.400€ / 312,000 円

⑥ バルセロナ Barcelona

スペインの中でも独自の歴史と文化を育んできたカタルーニャの都。ガウディやダリなど数多くの著名人を輩出。「芸術の街バルセロナ」には、今も街のあちこちに多くの芸術作品が残されています。

<ドン・キホーテ　バルセロナ校>

	1 週間あたり	24 週間あたり
一般集中スペイン語コース（25 時間 / 週）	199€ / 25,870 円	3.576€ / 464,880 円
ホームステイ（個人部屋 /2 食付）	234€ / 30,420 円	5.616€ / 730,080 円
共同アパート（個人部屋 / 食事なし）	175€ / 22,750 円	3.360€ / 436,800 円

⑤ バレンシア Valencia

「火祭り」とパエージャ発祥の地として有名な、スペイン第 3 の都市バレンシア。地中海性の温暖な気候で、ビーチリゾートとしても知られています。

<エスパニョーレ・インターナショナルハウス・バレンシア>

	1 週間あたり	24 週間あたり
一般集中スペイン語コース（20 時間 / 週）	160€ / 20,800 円	3.120€ / 405,600 円
ホームステイ（個人部屋 /2 食付）	185€ / 24,050 円	4.440€ / 577,200 円
共同アパート（個人部屋 / 食事なし）	110€ / 14,300 円	2.640€ / 343,200 円

④ グラナダ Granada

アルハンブラ宮殿があることで、世界的に有名なグラナダは、アラブ文化の名残をとどめる古都。都市の規模はそれほど大きくありませんが、落ち着いた美しい町並みが素晴らしく、訪れる価値があります。

<ドン・キホーテ　グラナダ校>

	1 週間あたり	24 週間あたり
一般集中スペイン語コース（25 時間 / 週）	165€ / 21,450 円	3.336€ / 433,680 円
ホームステイ（個人部屋 /2 食付）	154€ / 20,020 円	3.696€ / 480,480 円
共同アパート（個人部屋 / 食事なし）	130€ / 16,900 円	2.520€ / 327,600 円

スペイン留学.jp なら

大学付属の語学コースへの留学も可能です！

スペイン留学 .jp では、スペイン各地の大学とも提携しています。
大学付属の語学コースに興味のある方はぜひ一度ご相談下さい。

<提携先>

大学	地域
サンティアゴ・デ・コンポステーラ大学	ガリシア州
サラゴサ大学	アラゴン州
レオン大学	カスティーリャ・イ・レオン州
バリャドリード大学	カスティーリャ・イ・レオン州
アリカンテ大学	バレンシア州
マラガ大学	アンダルシア州
アルカラ大学	マドリード州

例）バリャドリード大学　10 月開講 28 週間
スペイン語・スペイン文化コース（15 時間 / 週）　2.975€
ホームステイ（個人部屋・3 食付）　6.076€ ※週あたり 217€
9.051€ / 1,176,630 円

※上記金額は 2015 年度コースの料金です。

大学の語学コースは、
コース日程が決まっていることが多いので、
まずはお気軽にご相談下さい♪

▶▶ ご出発までの流れ

1. 留学カウンセリング、お見積り
「どの街にしよう?」「費用はどれくらい?」「何から準備すればいいの?」など、漠然とイメージされている留学プランや、目的・期間・ご予算など、まずはメールやお電話でお気軽にご相談下さい。
2. 具体的に学校、コース、滞在スタイルなどのプログラムが決まれば、留学手続代行申込書を提出
3. 入学手続き開始
4. 航空券や保険、国際キャッシュカードなどの情報収集
5. ビザが必要な方は、申請に必要な書類を集め、在日スペイン大使館へ提出
90 日以内の留学なら学生ビザは不要ですが、91日以上の留学には学生ビザが必要です。短期学生ビザ（91 日以上180日以内）取得の場合は、ご出発の約 2 ヶ月前、長期学生ビザ（181 日以上）取得の場合は、ご出発の約3 ヶ月前に時間に余裕を持って提出して下さい。
6. 留学費、海外送金手数料のご入金
7. 航空券、海外保険、学生ビザなど必要なものが揃えば、いよいよご出発!

<当サポートサービスの範囲>

- 選択された学校への出願サポート
- サポート依頼を頂いた学校が手配するホームステイ、学生寮、共同アパートなどの宿泊先申込手続（混雑状況によりご希望に添えない場合がございますので、事前にご確認下さい）
- 留学費用の海外送金
- 空港出迎えサービスなど、各種オプションサービスの依頼代行

※未成年の方は、必ず保護者の方に同意を頂いた上、お申込み下さい
※パスポートやビザの申請、航空券・海外保険の手配などは含まれませんので各自でご準備下さい
※海外送金手数料（約 8,000 円）はご負担となります

留学生活をのぞいてみよう

留学体験記

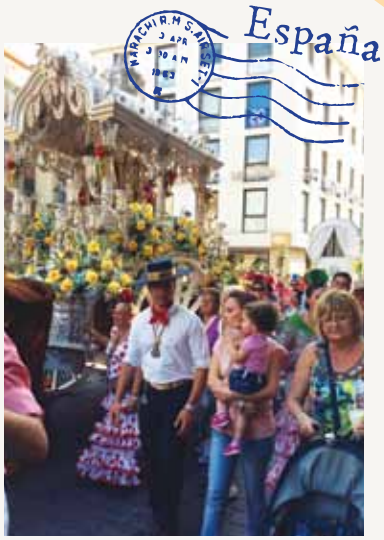
<プロフィール>
J・O さん (40 代女性)
滞在都市：セビーリャ
滞在期間：2014 年 5 月〜11 月

■ スペイン語に興味をもったきっかけ
スペイン人の先生にフラメンコを習ったときに言葉を理解したいと思って習い始めました。

留学準備について

スペイン語教室 ADELANTE で語学留学について説明を伺い、滞在都市と学校を決めました。入学申込や送金など学校に関する手続きは ADELANTE にお願いし、自分ではビザ申請に必要な書類を揃え、出発 60 日前位に大使館に提出しました。

ADELANTE で様々な疑問の解消やアドバイスをしていただいてスムーズに手続きができました。



学校の様子

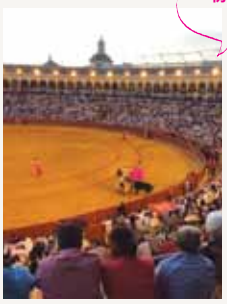
学校はセビーリャの中心にあり 1 クラス 10 人以下で大半はヨーロッパの人でした。5 月・6 月は休暇を兼ねて 1〜3 週間留学する 50，60 代が多く、7 月・8 月は 1 ヶ月程留学する 10，20 代が多かったです。

授業は、生徒が 2 人 1 組で会話練習をする時間と、先生が教科書やプリントで文法を説明し練習問題をする時間があり、3 週間ごとにテストがありました。学んだことを使ってゲームをしたり、パワーポイントで自国の文化を紹介する機会もありました。小学館西和中辞典 App が便利でした。

会話練習では最初の頃、自分が日本語で日本人に話したい事（スペインでの生活の感想、文化、習慣についてなど）をスペイン語に翻訳して話そうとしていましたが、それをできる語学力は到底無いのですぐ会話に行き詰まりました。そこから、会話の内容をもっと簡単で単純にして知ってる範囲のスペイン語でいかに相手とコミュニケーションを取り続けられるかを考えました。

午後は学校主催で自由参加のイベントがあり、先生の案内でセビーリャの世界遺産を訪ねたり、タイルの絵付け体験、カヌー、サイクリング、舞台鑑賞など。週末は日帰りでカディス やヘレスに行くツアーや、モロッコやリスボンへの 2 泊 3 日旅行もありました。モロッコ旅行ではジブラルタル海峡をフェリーで渡るので、初めて見るアフリカ大陸の巨大な岩山が印象的でした。アラブ世界の街の賑わいと幻想的な青い街シェフシャウエンも面白かったです。

タイルの絵付け体験!



初めて見る闘牛に大興奮

宿泊先について

掃除と食事を自分で行うシェアフラットを語学学校に申し込みました。学校から徒歩 20 分、旧市街にある 50 代の 1 人暮らしの陶芸家・画家の女性宅で、1 階はアトリエ兼教室、2 階は私の部屋とバスルーム、それにキッチン（オーナーと共同）、3 階がオーナーの居住スペース、屋上が庭になっていました。吹き抜けのある開放的な大きい家でオーナーの女性は気さくで明るく、職業柄 2 人の生活時間がずれていたので好きな時間にキッチンを使えました。彼女は料理が上手で休日にはアンダルシア料理を教わりました。週に 1 回陶芸も習いました。スペイン人の生徒さんたちとお皿やボウルを作り、クラスの後はみんなで BAR に行きカラコレス（小さいエスカルゴ）などを食べました。

モロッコのスーク散策に大興奮!

かわいいカフェでミントティー♪

日常生活の様子

授業は月から金、9:15-13:00（途中 20 分休憩）です。平日は夕方まで学校で復習、宿題、予習をした後 1，2 時間フラメンコのクラスを受ました。フラメンコは各教室の HP を見てクラスの始まる前に教室に行き、その場で申し込みました。見学も自由にできました。

学校以外に Intercambio（相互交換学習）で週に 1 度、日本文化が好きで来日経験もあるスペイン人女性と会話の練習をしました。彼女とは帰国後も skype で会話をしています。また最後の 1 ヶ月は校外のスペイン人の先生の個人授業を週に 1、2 回受けました。学校の授業の疑問点を解消したり文法を詳しく説明してもらいました。

夜はタブラオのフラメンコや BIENAL（2 年に 1 度セビーリャで開催されるフラメンコのお祭）の公演を観賞したり、サッカーや闘牛も見ました。

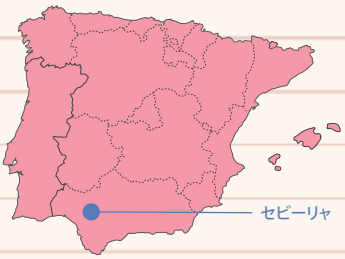
自炊の食材は週末に地元の市場で買いました。太陽が強いので野菜も果物も味が濃く、何を作っても美味しかったです。果物は種類も豊富で安く、桃、プラム、チェリモヤなど旬の果物を毎週キロ単位で買いました。

週末は友人とセビーリャからアンダルシアの各地に出かけました。カディス、ヘレス、グラナダ、マラガ、コルドバ、カルモナ、大西洋や地中海のビーチなどバスで 1〜3 時間です。

セビーリャってどんな街？

Sevilla

セビーリャを知ろう!



アンダルシア地方の中心都市。フラメンコの発祥地でもあり、毎年 4 月に開催される春祭りは大勢の観光客で賑わいます。マドリードからは新幹線 AVE で約 2 時間半とアクセス良好。またセビーリャを起点に、グラナダ・コルドバ・マラガなど近郊の町への旅行もお勧め!

面積	141.31 km²	人口	約 700,000 人
平均気温	夏（8 月）：35 度　冬（1 月）：16 度		

Flamenco フラメンコ

セビーリャにはフラメンコを鑑賞できる「タブラオ」と呼ばれるレストランがたくさんあります。臨場感溢れる本場のフラメンコショーは必見。また、フラメンコを習うことができる学校もあります。

Arte 芸術鑑賞

＼コロンブスの棺桶／

セビーリャの街を
馬車で巡るのもお勧め♪

← カテドラル（ヒラルダの塔）
モスクを取り壊し建設されたカテドラルは世界で 3 番目の規模を持ちます。1402 年から約 1 世紀かけて完成しました。内部には、たくさんのステンドグラスや絵画の他、コロンブスの墓も。また、付属するヒラルダの塔は、もともとモスクのミナレットでしたが、16 世紀に鐘楼が建設されました。展望台からはセビーリャの街を一望できます。

スペイン広場 →
マリア・ルイサ公園内にある広場。1929 年に開催されたイベロ・アメリカ博覧会の会場として造られた半円形の建物は建築家アニバル・ゴンサレス作。広場には 58 ものベンチがあり、各ベンチはスペイン各県の歴史や特徴が描かれたタイルで飾られています。

街中にフラメンコ衣装屋さん
カラフルな衣装が美しい!

アルカサル →
イスラム時代の城塞をレコンキスタ後にキリスト教王が王宮として改築。グラナダのアルハンブラ宮殿のように、天井や壁一面に施されたムデハル様式の彫刻は一見の価値あり。世界遺産にも登録されています。

学校情報 Información de las escuelas

※料金は 1€=130 円で計算した 2015 年 5 月のものです。
入学金や宿泊先斡旋料、夏期料金等が加算される学校もございますので、詳細につきましてはお問合せ下さい。

セビーリャにある代表的な語学学校を紹介。この他にもたくさん語学学校がありますので、お気軽にご相談下さい。

クリック IH セビーリャ校 / カディス校

clic

	1 週間あたり	24 週間あたり
一般集中スペイン語コース（20 時間 / 週）	180€ / 23,400 円	3.600€ / 468,000 円
ホームステイ（個人部屋 /2 食付）	160€ / 20,800 円	3.840€ / 499,200 円
共同アパート（個人部屋 / 食事なし）	100€ / 13,000 円	2.400€ / 312,000 円

J・O さんが
通った学校

留学体験記
J・O さんから
メッセージ

これから留学される方へ

クラスは殆どヨーロッパの生徒で、彼らのキリスト教文化圏では常識の習慣やことわざで、私の知らない事がいろいろありましたが、先生方はそんな文化圏の違いも理解して説明してくれました。セビーリャでは宗教行事も多いのでカトリックについて知識があるとより楽しめると思います。セビーリャの人々は気さくで親切ですから楽しい留学生活が送れると思います。

スペイン留学．ｊｐでは、ご希望に合った学校選びや、プランの作成など幅広くお手伝いしております。漠然とイメージされている留学プランや、目的・期間・ご予算など、まずは、お気軽にご相談下さい。

【お問合せはこちら】

スペイン留学．ｊｐ
URL：www.spainryugaku.jp
TEL：06-6346-5554
E-mail: info@spainryugaku.jp

https://www.facebook.com/spainryugaku.jp
「いいね!」をクリックして今すぐスペイン留学の最新情報を入手しよう!

@spainryugaku
ツイッターでも留学情報を配信しています!

VEN AL COLEGIO DELIBES...
¡ SALAMANCA TE ESTÁ ESPERANDO !

コレヒオ デリベスにお越しください。　サラマンカがあなたを待っています！

歴史、芸術、学生の街として有名なサラマンカ。
この街では、訛りのないスペイン語が話されているため、
スペイン語を学ぶのにぴったりの環境です。

コレヒオ デリベスの教室で学ぶスペイン語は、サラマンカの通りで耳にするスペイン語とまったく同じです。ここでは訛りのない美しいスペイン語を学ぶことができるのです！

また、サラマンカは大都市の利便性と、小さな街の治安の良さや親しみやすい雰囲気の両方を兼ね備えています。

是非、サラマンカへお越しください！
きっとご自分の家にいるような心地よさを感じていただけると思います。

コレヒオ デリベスでは・・
- 個人カウンセリングや希望に応じた柔軟な対応
- 14種類にも及ぶインテンシブコース（1日4〜6レッスン）
- レベルは全14レベル
- 学生は若者からシニア層まで40ヵ国の国々から
- クラスの人数は最大10名
- 学校が厳選した滞在先（ホームステイ・学生寮・シェアアパート・個人用アパート・ホテル）
- スペイン文化やスポーツなど様々なアクティビティを提供
- エアコン完備の26教室と図書室
- スペイン料理教室

colegiodelibes
Y TÚ... HABLAS ESPAÑOL?

Colegio Delibes
Avda. Italia, 21
37007 Salamanca. España

Tfno: +34 923 120 460
Fax: +34 923 120 489
www.colegiodelibes.com
delibes@colegiodelibes.com

¡Vamos a hablar español!

スペイン語で話そう

Lección 3

スペイン語で自己紹介 ③

¿Cuántos años tienes? / Tengo ... años.

自己紹介しよう：「何歳ですか?」「〜歳です。」

¡Hola! みなさん、こんにちは。今回は「年齢の尋ね方、言い方」を学習します。
また同じtener動詞を使って兄弟・姉妹の有無の言い方も見てみましょう。

年齢の尋ね方

¿Cuántos años + *tener* ?（動詞）

例）¿Cuántos años tienes?　きみは何歳ですか?

年齢の言い方

tener + 数字 + año(s).（動詞）

例）Tengo 25 años.　25歳です。

Ser動詞の活用

わたし	yo	tengo
きみ	tú	tienes
彼・彼女 あなた	él, ella usted	tiene
わたしたち	nosotros nosotras	tenemos
きみたち	vosotros vosotras	tenéis
彼・彼女たち あなたたち	ellos, ellas ustedes	tienen

兄弟・姉妹の有無を聞いてみよう／言ってみよう

¿*Tener* hermano (a, nos, nas)? / *Tener* + 数字 + hermano (a, nos, nas).（動詞）

例）¿Tienes hermanos?　兄弟・姉妹はいますか?　／　Sí, tengo dos hermanas.　姉妹が2人います。

+αで覚えよう！

［数字］

1	uno	14	catorce
2	dos	15	quince
3	tres	16	dieciséis
4	cuatro	17	diecisiete
5	cinco	18	dieciocho
6	seis	19	diecinueve
7	siete	20	veinte
8	ocho	21	veintiuno
9	nueve	22	veintidós
10	diez	⋮	
11	once	30	treinta
12	doce	40	cuarenta
13	trece	50	cincuenta

スペイン語教室 ADELANTE

・一般・旅行・商業・DELE検定対策・プライベートなど目的やペースに合わせて選べるコース
・ネイティブ講師だからプチ留学気分で自然なスペイン語がマスターできる!
・振替ができるので忙しくても安心!
・月謝払いOK!

無料体験レッスン 教室見学など 随時受付中!

スペイン語教室 ADELANTE
〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田2-5-8千代田ビル西別館2F
TEL: 06-6346-5554　FAX: 06-6110-5122　www.adelante.jp

AVANZAMOS A1

- 日本の学習事情を考慮して作られた西語で西語を学ぶ入門者向けテキスト
- 個人授業／グループ授業 使用可
- 充実の104P（オールカラー）・CD付
- ¥1,944（税込）

アデランテショップで好評販売中！
www.adelanteshop.jp

スペイン語講座 Lección 21

今回のテーマ

線過去の用法について (2)

Sobre el uso del pretérito imperfecto

今号は前回に引き続き、線過去の用法を扱います。まずは前回扱った用法と例文を確認しましょう。このページの右下の囲みを見てください。「1. 継続」、「2. 習慣(反復)」、「3. 未遂」までが、前号で扱った用法です。

さて、4つ目の用法は「婉曲」です。婉曲とは物事を遠まわしに言うことです。直接的表現を避けて現在や未来のことをあえて線過去を使っていう用法です。「丁寧・謙譲の未完了過去」(imperfecto de cortesía y modestia)です。代表的な例としてquererのものを挙げます。quererだけの場合も≪querer + 不定詞≫の場合もあります。

¿Qué quería?
何をお望みでしたか?
-Quería una chaqueta de piel.
革のジャケットが欲しかったのですが…。
Quería hacerle una pregunta.
あなたに質問させて頂きたかったのですが…。

日本語にもこれに近い表現があります。いわゆる「接客過去」です。例えば、「ポテトはよろしいですか?」の代わりに「ポテトはよろしかったですか?」とあえて過去で訊かれることはよくありますよね。「バイト敬語」とも言います。

また「丁寧」の用法に近いものに「思い出し」用法があります。例えば、あなたが先月のパーティーで知り合った人とどこかで再会したとします。でも名前がどうしても思い出せません。そんな時、"¿Cómo te llamas?"では失礼だし、不自然です。

Perdona, ¿cómo te llamabas? María...
ゴメン、名前は何だったっけ? マリア…
-María Luisa Gómez. Y tú eras José García de Derecho, ¿no?
マリア=ルイサ・ゴメス。あなたは法学部のホセ・ガルシアだったよね。

このように線過去を使って言うとよいでしょう(けっして昔の名前を尋ねているのではありません)。「〜だったっけ」用法と覚えてください。もう1つ例文です。

¿Mañana a qué hora salía nuestro tren bala para Tokio?
明日の東京行きの新幹線は何時出発だったっけ?

明日のことを話しているので実際にはsalirは未来に言及しています。しかし、線過去を使うことによって聞いたけど忘れてしまった感を出すのです。線過去が動作の終わりを曖昧にする性格をうまく利用した用法と言えるでしょう。このように線過去は過去でありながら現在や未来にまで言及することができる過去です。過去を越えているという意味で「超過去」「スーパー過去」と呼んでもいいかも知れません。

線過去にはまだまだ他の用法があるのですが、中級の学習者にはここまでよいと思います。次に点過去と線過去の違いをわかりやすくするために比較を試みましょう。例を挙げます。

A los 20 tuve mi primer hijo.
20歳で私は最初の息子を得た(生んだ)。
A los 20 años ya tenía dos hijos.
20歳で私は既に2人の息子がいた。

この場合、点過去tuveだと「持った」、線過去teníaだと「持っていた」という意味になります。

saberやconocerも点過去と線過去とでは意味が違ってきます。

Conocí a Teresa en esa fiesta, pero ya conocía a su hermana.
そのパーティでテレサと知り合ったが、既にその妹とは知り合いだった。

つまり、点過去の場合は「知る」ことが完了したことを表し、線過去の場合は「知る」ことが完了した後その「結果が継続」していることを表しています。

さて、動詞の中には過去では点過去は使われず線過去のみで使用されるものがあります。まず、時刻の表現でのserです。

Eran las 10:00 de la noche. ×Fueron...
夜の10時だった。

次に時間経過を表わすllevarとhacerも線過去でしか使いません。

Manuel llevaba 2 años estudiando español. ×Llevé...
マヌエルはスペイン語を勉強して2年であった。
Hacía 10 años que no volvía a mi pueblo natal.
私が生まれた村に帰らないで10年が経っていた。

≪acabar de +不定詞≫「〜したばかりである」も線過去専用です。

Como acababa de llegar de México, aún no tenía dólares.
メキシコから到着したばかりだったのでまだドルは持っていなかった。

最後は、≪soler + 不定詞≫「〜したものである」を挙げます。線過去で「習慣」を表すことができますが、さらにこの意味をはっきりとさせたいときに使用するとよいでしょう。

Cuando era niño, yo solía jugar al fútbol todos los domingos.
こどもの頃毎週日曜日サッカーをするのが常だった。

さて、前号から見てきた線過去の用法全体を最後にまとめてみましょう。

1. 継続
a)状況説明
Era una noche oscura.
b)バックグラウンド(線過去+点過去)
Cuando yo estudiaba, me llamó una amiga.
c)平行進行(線過去+線過去)
Mientras yo cocinaba, ella veía la tele.
d)過去の現在(主節+線過去)
Lucía me dijo que tenía muchos exámenes.

2. 習慣(反復)
Cuando era niño, yo jugaba al fútbol todos los domingos.

3. 未遂
Cuando ya despegaba el avión,
el piloto encontró una avería grave y ...

4. 婉曲
a)丁寧
Quería una chaqueta de piel.
b)思い出し(「〜だったっけ」)
Perdona, ¿cómo te llamabas?

線過去は日本語話者にとって理解しにくい形ですが、スペイン語の表現を豊かにする重要な道具ですからぜひマスターしてください。多くの例文を覚えられることを勧めます。¡Hasta la vista!

仲井 邦佳 なかいくによし / Kuniyoshi Nakai
立命館大学産業社会学部教授。京都イスパニア学研究会長。専門はスペイン語学。著書に『はじめてのエスパニョール』(共著、三修社)、『中級スペイン語―文法と演習―』(共著、同学社)などがある。

ビジネス スペイン語

NIVEL 中級（B2）以上

Vol.2
前号では「売上」につき大きな数字を含めた表現を例示しましたが、ビジネスの現場では「売上高」や「取引金額」の数値が大事な要素ですので、こうした数字を音読して“読み”と“聴き取り”に慣れるよう反復練習を継続して下さい。

伊藤 嘉太郎先生
Yoshitaro Ito
長年の海外経験を活かし、
現在大学の非常勤講師として
ビジネススペイン語講座を担当。

☑ 売上（高）について

今回も前回に引き続き「売上」のトレンド（変動）についての表現を見てみましょう。

ejemplo 1

La contracción económica del país causó una enorme caída de nuestras ventas hasta del 20% el año pasado.

「国内経済のマイナス成長で、昨年度当社売上は20%もの 大幅落ち込みとなった。」

ejemplo 2

El consejero delegado de la empresa FMA dio a conocer en la rueda de prensa que se vió obligado a revisar a la baja la proyección de sus ventas para el presente año debido a la crisis financiera.

「FMA社の代表取締役（CEO）は記者会見で、金融危機のため本年度の売上見通しを下方修正せざるを得なくなった、と発表した。」

ejemplo 3

La facturación de los mercados extranjeros ha sido superior a la del mercado doméstico.

「海外市場の売上が国内市場のそれを上回った。」

ejemplo 4

El volumen de ventas de teléfonos móviles sigue incrementando con la curva ascendente en lo que va de año.

「携帯電話の販売台数は、今年に入ってからずっと右肩上がりで伸びている。」

ejemplo 5

Prevemos que la tendencia alcista en ventas de ropa para la temporada invernal continúe firme en lo que resta de año.

「冬物衣料の販売増加傾向は、年末にかけて引き続き堅調と当社は見込んでいる。」

以上、「売上」についてVol.1～Vol.2でさまざまな表現に接してきました。例文にはシンプルで覚えやすい文章を心がけましたので、これらの基本文型をできるだけ頭に入れ、読解力・作文力のアップに役立てて下さい。特に、冒頭に述べましたようにビジネスでは、「売上高」や「取引金額」の大きな数字の読み方・聴き取りを鍛えることが大事です。

次回は企業にとって大切な「利益」に関する表現を学びます。

ejemplo 1

1.「マイナス成長」の他の表現：
crecimiento económico negativo, descenso económico, caída económica, retroceso económico

2.パーセンテージ（%）の数字には定冠詞または不定冠詞が付いたり付かなかったりするが、売上や利益の増減を示す場合には不定冠詞が付くことが多い。<前回の例文1・2を参照>

3.売上の急増：un repunte de ventas
売上の急落：un desplome de ventas
これらの用語は株価の「急騰」、「急落」の表現にも使用される。

4.売上減少：reducción / decremento / descenso / disminución / baja / caída de ventas

ejemplo 2

1.スペインでは“consejero delegado”をCEO（最高経営責任者）の名称にあてているが、文字通りに訳すと代表取締役である。
社長：presidente または director general
トップマネージメント：la alta dirección, los altos directivos
経営陣：la cúpula directiva

2.記者会見の別の表現：la conferencia de prensa
プレスリリース：la nota / el comunicado de prensa

3.上方修正：la revisión al alza
（上方修正する：revisar al alza）

4.予想、予測、見込みの同義語：previsión, pronóstico, perspectivas (presagio, augurio)

ejemplo 3

1.“superior a la” の”la”はla facturaciónを指す。
下回る：inferior a～

2.海外市場：mercado externo / exterior / foráneo / internacional
国内市場：mercado nacional / interno / doméstico / local / interior ※但し、“mercado local”は文脈により「地場市場、地方市場」の意味も持つ。

ejemplo 4

1.販売数量：la cantidad de ventas,
las ventas cuantitativas, las ventas en unidades

2.右肩下がりで：con la curva descendente

ejemplo 5

1.販売シーズン：la temporada de ventas
ハイシーズン：la temporada alta
ローシーズン：la temporada baja

2.年末にかけて：en lo que queda de año も同義。

もっと詳しく知りたい方は…
中級ビジネス
スペイン語特別講座

【対象者】
現役のビジネスパーソンでビジネススペイン語力を高めたい方、
将来スペイン語を使った仕事に就く予定・計画のある方、
スペイン語のステップアップとして実践的なスペイン語学習を求める方

【講座内容】
ビジネス関連情報の読み取り方、顧客への自社業務・担当業務の説明、
E-mailによる社内外とのコミュニケーション等

【講座概要】
時間：90分
定員：4～5名の少数クラス
（最小実施人数3名）
講師：伊藤嘉太郎
場所：スペイン語教室ADELANTE
アクセス：JR大阪桜橋口から徒歩5分

スペイン語
ADELANTE
www.adelante.jp

【お問合せ】スペイン語教室ADELANTE 〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田2-5-8 千代田ビル西別館2F TEL: 06-6346-5554 FAX: 06-6110-5122 www.adelante.jp

1. ラ・マンチャ地方の丘にならぶ発電用の風車。2. スペインでは、古くから風力がエネルギーとして使われてきた。(カンポ・デ・クリプターナ)

Eco エコ España エスパーニャ

スペインの“エコ”をお届けします

vol.8

再生可能エネルギー大国スペイン

写真・文　篠田有史

スペインで再生可能エネルギーといえば、やはり風力発電である。ドン・キホーテの時代から、ラ・マンチャ地方にはたくさんの風車が立っていた。が、今その中心となっているのは、スペイン北東部のアラゴン地方である。この地方では年中強い風が吹き、発電機の羽根を回している。そのほか、全国各地に発電用の風車が立ち並び、車をとばしていると、巨大なはねを運んでいるトラックとすれ違うこともある。それほどまでに、スペインには風車が多い。そんなわけで、風力発電の電力供給率は、約21パーセントにもなる。

前回・前々回では、スペインならではの、太陽熱とオリーブを利用した再生可能エネルギーを紹介したが、スペインでは風力のほか、一般的な太陽光パネルを利用した発電や、地熱発電も行われている。

日本では、発電と送電は同じ会社が行っているが、すでにスペインでは、別々の会社が受け持っている。スペイン電力ネット（REE）は、送電を受け持つスペイン唯一の会社である。そしてここには、世界最初の再生可能エネルギーコントロールセンター（CECRE）が併設されている。CECREのモニターには、風力、太陽光・熱、水力による発電量がリアルタイムで表示されている。再生可能エネルギーの欠点は、供給が不安定なことだが、ここで調整し、配電している。

公園や学校などの公共施設には、太陽光パネルを設置してある所も多く、学校では、原発の問題や再生可能エネルギーの教育も行われている。マラガでは、スマートコミュニティの実証実験が2013年4月から始まり、日本製の電気自動車200台が導入されている。

スペインは、再生可能エネルギー大国ともいえるエコロジーな国である。

3、スペイン電力ネット（REE）のメインモニター。
4、再生可能エネルギーコントロールセンター（CECRE）。
5、公園に設置された太陽光パネル。
6、小学校でも、太陽光発電の教育が進んでいる。
7、マラガはスマートコミュニティを目指している。

篠田有史　しのだゆうじ / Yuji Shinoda

1954年岐阜県生まれ。フォトジャーナリスト。24歳の時の1年間世界一周の旅で、アンダルシアの小さな町Lojaと出会い、以後、ほぼ毎年通う。その他、スペイン語圏を中心に、庶民の生活を撮り続けている。
【写真展】スペインの小さな町で（冨士フォトサロン）、遠い微笑・ニカラ グア（〃）など。
【本】「ドン・キホーテの世界をゆく」（論創社）「コロンブスの夢」（新潮社）
「リゴベルタの村」（講談社）などの写真を担当。

日西商業会議所　Cámara de Comercio Hispano Japonesa

マドリードにオフィスを構える日西商業会議所(Cámara de Comercio Hispano Japonesa)は、日本とスペイン間の商業関係促進のために1954年に設立された民間団体です。会員をはじめとして顧客へのビジネスサポート、イベント開催、各種講座の開講、スペイン情報の発信、各種出版など、日本・スペイン間の理解、関係改善に向けた様々な活動をおこなっています。ここでは、日西商業会議所発行『スペイン広報』と記事の一部をご紹介いたします。

スペイン産オリーブオイル、世界有数のランキングを独占

ワールド・ベスト・オリーブ・オイルズの選考で、エキストラ・バージン・オリーブ・オイル(AOVE) 上位50商品中の29品がスペイン産であった。そしてトップ10中の8品がスペイン産で、上位3品はアンダルシア州産であった。

ムエラ・オリーバ(原産地呼称プリエゴ・デ・コルドバ)のベンタ・デ・バルボン・エキストラ・バージン・オリーブオイルは91点で今年も世界の最優秀オリーブオイルに選ばれた。2位は78点のハエン県のエスプロタシオネス・ハメ社のブラボレウム－ピクアル・セレクシオン・エスペシアル。3位は77点の同じくハエン県、ガルゴン99社のオロ・バイレン・レセルバ・ファミリアル・ピクアル。そしてトップ10中の他スペイン産オリーブオイル5品のうち3品がアンダルシア州、2品がエストレマドゥーラ州であった。

ドイツ非営利団体ワールド・ベスト・オリーブ・オイルズ (WBOO) は専門の鑑定家とこの分野のプロフェショナルで構成され、選考基準を確立している。2013年と2014年のランキングは、オリーブオイルの有名な世界大会19の上位入賞商品から選考し、その19大会の1つが、日本オリーブオイルソムリエ協会主催のオリーブジャパン(国際オリーブオイルコンテスト)であった。

有機オリーブオイル上位25品の選考に関しては、上位3品は78点のフィンカ・ラ・トレ－セレクション、52点のリンコン・デ・ラ・スブベティカ、50点のオロ・デ・デシエルトであった。

www.worldsbestoliveoils.org

スペイン情報誌
季刊『スペイン広報』

1985 年創刊の『スペイン広報』は、スペインの文化、経済をオールカラー、豊富な写真でお伝えする日本語の季刊誌。日本ではあまり知られていない地域の魅力や祭り、アートの他、奥深いスペイングルメ情報も満載。

www.camarajaponesa.es/jpn/?cat=5

お問い合わせ先
日西商業会議所 / Cámara de Comercio Hispano Japonesa
www.camarajaponesa.es/jpn
camara@camarajaponesa.es ☏ (+34) 91 851 12 11
✉ Apartado 10124 – 28080 MADRID - SPAIN

スペイン内戦が生んだ「ロバート・キャパ」第7話

文・川成 洋

キャパとタローがパリに戻った。そのほぼ1ヵ月後の10月28日、フランコ叛乱軍がついに10キロの線でマドリードを半円形に包囲し、大砲陣地を構築し攻撃態勢を整えた。いよいよマドリード市内への突入が秒読み段階となった。30日と31日の両日、マドリードへの空爆が開始された。ヨーロッパで最初の空からの威嚇攻撃であった。その後断続的に空爆が続くが、11月6日、いままでと異なる飛行機がマドリード上空に飛来してきた。この時の様子をカナダ人医師ノーマン・ベチューンはこう述べている。

> この都市の上空に現われた小型戦闘機の1編隊は、共和派の標識を付けていた。戦闘機は猛烈な速力で驚いた敵陣に突込み、機銃掃射で攻撃した。この戦闘編隊は政府軍最初の出撃であったが、7月以来初めての大きな戦果をおさめた。マドリード市民は有頂天になって、機に、“獅子っぱな”とあだ名した。この戦闘機はわずか4日ほど前、ソ連からカタルヘナに到着したのだが、そのときすでに敵弾のお見舞いを受けていた。(T・アラン、S・ゴードン『医師ノーマン・ベチューンの偉大な生涯』浅野雄三訳、東邦出版社、1974年、p.104)

11月6日、アナキストの全国労働連合(CNT)は猛反対したが、共和国政府は首都をマドリードからバレンシアに移すことを決定した。マドリード防衛は退役したミアハ将軍を議長とするマドリード防衛評議会に委ねられた。いまや「スペインの心臓部」マドリードは「政府なきマドリード」となってしまった。この日の攻撃によって、首都の陥落は必至と思われた。事実、叛乱軍を陰謀段階から支援してきたポルトガルのラジオ・リスボンは、叛乱軍の総帥フランコ将軍が将軍用の軍装に身をつつみ真っ白の軍馬に跨り、マドリードの目抜き通りであるグラン・ビアを凱旋行進したという晴れやかな情景を放送した。また、各国の通信特派員もフランコ軍のマドリード入城を打電していた。日本の新聞も例外ではなかった。『東京朝日新聞(現・朝日新聞)』は「マドリード入城の報」(11月8日付)という号外を出した。『ニューヨークタイムズ』にも、「マドリード陥落」の記事がある。しかしながら、マドリードは陥落しなかった。世界中に流れたマドリード陥落のニュースは、フランコ叛乱軍シンパの早とちりによる紛れもない与太記事だった。マドリードは名実伴う「世界の首都」、さらに「反ファシズム闘争の牙城」と言われるようになった。結局、マドリード防衛は、スペイン内戦の最終段階の1939年3月28日の無条件降伏まで、続いたのである。

話を戻すが、11月8日正午過ぎ、叛乱軍のマドリード再攻撃が開始された。この直後、マドリード市民には予想だにしなかったことだが、アトーチャ駅に降りたった長い列がグラン・ビアを整然と行進していった。スペインで最初に編成された第11国際旅団であった。ハンガリー人指揮官の通称「エミリオ・クレーベル」将軍のもと、ドイツ人、フランス人、ベルギー人、ポーランド人、ハンガリー人、ユーゴスラビア人の3個大隊編制の、総員1900人であった。彼らの陣地は、マドリードの「大学都市」という建設途中のマドリード大学だった。すでに大学の西側の大自然公園カサ・デ・カンポに布陣していた叛乱軍に対する掃討作戦を開始した。叛乱軍のマドリードへの締め付けは幾分緩んだ。

つづいて11月12日、第12国際旅団がマドリード戦線に到着した。通称「ルカーチ将軍」指揮下のドイツ人、イタリア人、フランス人、ベルギー人3個大隊編制、1550人の陣容であった。彼らは、マドリード南方15キロのセロ・デ・ロス・アンヘレスでの戦闘に従軍し、その後第11国際旅団の前線へと転戦した。

マドリード大学での熾烈な戦闘は11月23日まで続き、両軍とも消耗してしまい膠着状態に陥ったのだった。マドリードは孤立無援ではなかったのだ。この2個国際旅団は、叛乱軍のマドリード市内への進撃作戦を阻止したという点では、一応の成果を挙げることができたが、如何せんズブの素人戦闘集団だったために、兵員の損失もはなはだしく、アメリカ人ジャーナリストのルイス・フィッシャーによると、「ほぼ半数に達した」のだった。(cf.川成洋『ジャック白井と国際旅団――スペイン内戦を戦った日本人』中公文庫、2013年、p.89)

ところで、マドリードで共和国陣営が恐怖に駆られながらも、英雄的な戦闘を果敢に繰り広げているニュースに接したキャパがかねてから待ち望んでいた「反ファシスト闘争」の現場に向かうべく八方手を尽くし、ようやく、キャパだけであるが、『ルガール』誌の取材契約を取り付けることができた。その雑誌社を介してパリのスペイン共和国大使館から緊急取材ビザを発給してもらう。取材期間は11月18日から12月5日まであった。即刻、キャパは、11月18日にマドリードに到着する。19日早朝、第11国際旅団の陣地を探し当て、ほぼ1週間彼らと行動をともにする。ルカーチ将軍からすれば戦場カメラマンなんぞ煩わしかった。将軍は日中、キャパが身をさらさないことを条件として取材を許した。それに対してキャパは「自分は従軍記者だ。絵葉書を撮りに来たのではない」と突っぱねる一幕もあった。だが、ルカーチ将軍の作戦本部に戻る途中にキャパは初めて実戦に遭遇する。同行したドイツ人作家で第11国際旅団政治委員グスタフ・レーグラーはこう回想している。

> その若者[キャパ]は、頭の上を飛んでくる砲弾の音にびくついていた。だが、砲弾が実際に爆発する場所はずっと遠くだった。彼はズボンを替えにその場所を離れてもいいかと訊ねてきた。ユーモアまじりで言うには、初めての戦場で足よりも腹のほうがまいってしまったのだそうだ。(アレックス・カーショウ『血とシャンパン――ロバート・キャパ――その生涯と時代』野中邦子訳、角川書店、2004年、p.64)

17日間のマドリード取材であったが、まさに修羅場と化していた幾つかの凄惨な戦場、防空壕となっている地下鉄ホームでの避難者の悲惨な生活、カサ・デ・カンポでの白兵戦、破壊された住居とその悲歎にくれる住民など、キャパにとっては十分満足のいく写真を撮ったのだった。12月10日付けの『ルガール』誌は「磔にされた首都。本誌マドリード特派員キャパの撮影した驚異的な写真」といったキャプション付きで、特集を組んだ。さらに翌週の12月17日もキャパの写真を大々的に掲載した。この3日後に、発行部数100万部以上の『パリ・ソワール』紙もキャパの写真を掲載する。さらに『イラストレイテッド・ロンドン・ニューズ』紙、カタルーニャの『モーメンツ』紙、ブダペストの『ペステイ・ナプロ』紙のグラビア付録、11月に創刊されたアメリカの雑誌『ライフ』など、23歳になったばかりのキャパの写真と名声は瞬く間に世界中を駆け巡ったのだった。

翌1937年1月、キャパは、再び『ルガール』の特派員としてマドリードに行くが、彼にとって興味のわく場面がなかったのだろう、ほんの数枚の写真を撮ってパリに戻った。2月中旬、キャパはまたスペインに入った。今度はタローも一緒だった。実は2月8日、アンダルシア地方の海岸、コスタ・デル・ソルの町マラガが陥落した。叛乱軍が三方から攻めこんだのだった。数千人の共和国支持者が取り残されたが、その一部が即座に銃殺され、それ以外の者は即決裁判で投獄された。彼らの中に、『ニューズ・クロニクル』紙の特派員であった、ハンガリー生まれのイギリス人作家アーサー・ケストラーも混ざっていた。彼は死刑の宣告を受けセビリアの監獄に繋がれ、やがてイギリス政府の強硬な抗議と共和国側に捕虜となっていた空軍将校との交換によって釈放された。そのときのセビリアの獄中記が『スペインの遺書』(1937年)である。ケストラーは共和国政府がマラガ防衛を全くしなかったことを痛烈に批判している。

叛乱軍は、マラガから海岸沿いに東方、歩いて2〜3日かかるアルメニアへの逃走路を開けておいた。戦車で寄る辺なき難民を追い、飛行機から機銃掃射を繰り返し、戦艦から砲撃したのだった。

キャパとタローはこの悲劇を捉えた写真を持ってパリへ戻ったのである。

川成洋 かわなりよう / Yo Kawanari
1942年札幌で生まれる。北海道大学文学部卒業。東京都立大学大学院修士課程修了。社会学博士(一橋大学)。法政大学名誉教授。スペイン現代史学会会長、武道家(合気道6段、杖道3段、居合道4段)。書評家。主要著書:『青春のスペイン戦争』(中公新書)、『スペイン一未完の現代史』(彩流社)、『スペイン一歴史の旅』(人間社)、『ジャック白井と国際旅団一スペイン内戦を戦った日本人』(中公文庫) ほか。

Mes de la Cultura Árabe アラブ文化月間

Apertura del Mes de la Cultura Árabe アラブ文化月間オープニング

Entre el 13 de febrero y el 13 de marzo de 2015 el Instituto Cervantes de Tokio, en colaboración con la Asociación de Mujeres de Embajadores Árabes de Catar, Kuwait, Marruecos, Omán, Palestina, Sudán, Túnez, Yemen y Jordania (SWAAJ), llevó a cabo el Mes de la Cultura Árabe, para resaltar la influencia árabe en España y para conmemorar también los mil años de la creación del Reino Nazarí de Granada, como modelo de convivencia armónica entre las tres grandes culturas: la cristiana, la judía y la musulmana. Un modelo de tolerancia y convivencia que debemos recuperar hoy en día.

セルバンテス文化センター東京は、2015年2月13日から3月13日まで、駐日アラブ大使夫人の会（SWAAJ）のカタール、クエート、モロッコ、オマーン、パレスチナ、スーダン、チュニジア、イエメン、ヨルダン大使館と共にアラブ文化月間を開催しました。これはスペインにおけるアラブの影響を再考し、また千年の昔にカトリック、ユダヤ、イスラム文化が平和的に共存していた、ナスル朝グラナダ王国建国を記念する意味を持っています。このことはまた、現代の私たちが回復すべき寛容の精神そして共存のあり方のモデルとも考えられます。

El programa se abrió el 13 de febrero con una conferencia magistral del Dr. Bashir Kurdi, ex embajador de Arabia Saudí en Japón, en la que habló de las relaciones entre los países árabes y Japón, junto con la influencia que la lengua y la cultura árabes han dejado en España, donde el Embajador Kurdi tiene fijada su residencia. La conferencia, que tuvo un altísimo nivel, fue seguida por la inauguración de una exposición de arte y una degustación de platos típicos de cada uno de los nueve países participantes que hicieron las delicias del numerosísimo público asistente, entre el que se contó con la presencia de veintiún embajadores árabes y de países latinoamericanos que, junto con el embajador de España, acompañados todos ellos de sus esposas, fueron protagonistas incuestionables en la organización de este Mes de la Cultura Árabe.

2月13日のオープニングには、前駐日サウジアラビア大使・現スペイン在住のバシール・クルディ博士を迎え、日本とアラブ諸国の関係、アラブ文化、言語がスペインに残した影響についてご講演いただきました。素晴らしいお話の後は、美術展の開会、そしてアラブ9ヶ国ご提供の各国料理の試食会が続きました。この日はこのアラブ文化月間開催の主役である大使夫人、スペイン大使、アラブ諸国及びラテンアメリカ諸国21名の大使ら多くの方にご来場いただきました。

Aunque Egipto no estaba en el grupo de países participantes, no podíamos pasar por alto el hecho de que en la máxima categoría del Sumo, “Makuuchi”, contamos con el egipcio Abdelrahman Shalan “Oshuna-arashi”. El auditorio del Instituto Cervantes, totalmente abarrotado de público, disfrutó de la espontaneidad de uno de los grandes luchadores extranjeros de sumo que vive en Japón durante la charla que mantuvo en árabe y japonés, con Nariman Elshamly, esposa egipcia del profesor Pablo Navarro del Instituto Cervantes y con Daniel Orozco, nuestro traductor y oficial administrativo.

エジプトは本文化月間の参加国ではありませんでしたが、アラブ諸国初の外国人力士ということで、同国出身の大砂嵐関ことアブデラフマン・シャーラン氏をお招きしました。大砂嵐関にはアラビア語と日本語で気さくなお話をいただき、満員の会場は大いに盛り上がりました。この通訳には弊センター講師パブロ・ナバロの妻、エジプト出身のナリマン・エルシャムリィ氏がアラビア語を、弊センターのダニエル・オロスコが日本語を担当しました。

1. Cuenta cuentos para niños
子供のための読み聞かせ
2. Conferencia del Dr. Bashir Kurdi
バシール・クルディ博士講演会
3. Encuentro con el luchador de sumo egipcio Osuna-arashi
エジプト出身力士大砂嵐関との出会い

Durante los días 18 y 21 de febrero, se realizó una serie de talleres interesantísimos sobre caligrafía árabe, incienso y henna, una conferencia de introducción al idioma árabe y una conferencia sobre el café, así como una extraordinaria demostración de danza folklórica Dabka de Palestina, actividades que introdujeron al público japonés en las distintas costumbres y tradiciones de los diferentes países árabes participantes y que contaron con una gran concurrencia.

2月18、21日はアラビア語のカリグラフィー、お香、ヘナ、アラビア語入門、コーヒーやパレスチナのダッカフォークロールダンスのプレゼンテーションが行われました。観客が参加できる催しとあって大変賑わい、興味深いものになりました。日本の皆様にはアラブ諸国の様々な文化に触れる絶好の機会となったのではないでしょうか。

El 28 de febrero tuvimos tres actividades diferentes. En primer lugar, un cuentacuentos para niños titulado "El intercambio de sándwiches", escrito por S.M. La Reina Rania de Jordania, que hizo las delicias de los niños asistentes. En segundo lugar, las esposas de los embajadores de Jordania y Yemen, Shifa Haddad y Jamila Al-Gunaid, dieron una magnífica conferencia sobre los aspectos comunes en la cultura árabe, española y japonesa incidiendo en la necesidad de volver a la filosofía del Reino de Granada, donde vivieron en paz y armonía las tres grandes culturas: cristiana, judía y musulmana. Fue sorprendente comprobar cómo hay una gran diversidad de aspectos que enlazan las culturas árabe, japonesa y española, como la cerámica, algunos tipos de comidas, las formas de rezar, artesanía, etc…, la preparación de la conferencia fue hecha con un gran rigor.

2月28日は3つのイベントが開催されました。まずはラーニア ヨルダン王妃作の童話『サンドイッチ・スワップ』の読み聞かせが行われ、子供達に人気を博しました。続いてシーファ・ハダッド ヨルダン大使夫人、ジャミラ・アルグナイド イエメン大使夫人による講演が開かれました。クリスチャン、ユダヤ、イスラム文化が平和的に調和を持って共存していたグラナダ王国の哲学を回復させる必要性、またアラブ、スペイン、日本文化の共通点についてご紹介いただきました。陶器や料理、お祈りの仕方や民芸品など、プレゼンテーションの内容は詳細で、このようにたくさんの共通点があることにとても驚きました。

1. Degustación de platos típicos de los diferentes países árabes
アラブ諸国郷土料理試食会
2. Taller sobre henna
ヘナワークショップ
3. Taller de caligrafía árabe
アラブカリグラフィーのワークショップ

En tercer lugar, un desfile de moda de trajes típicos de los nueve países participantes en este Mes de la Cultura Árabe que llenó de colorido, música y alegría el auditorio del Instituto Cervantes, ante un público totalmente entusiasmado y que disfrutó de una jornada realmente inolvidable.

この日の締めくくりにはアラブ文化月間参加9ヶ国のファッションを紹介するショーが行われました。会場となったオーディトリアムは色彩と音楽、喜びに満ちて私たちを魅了し、忘れがたいイベントとなりました。

La contribución del Instituto Cervantes de Tokio a estos actos tuvo lugar el 3 de marzo a través de cinco de sus profesores colaboradores, en la penúltima jornada del Mes de la Cultura Árabe, que junto conmigo como Director del centro, impartimos seis mini conferencias sobre distintos aspectos culturales y lingüísticos de Al Andalus, seguidas de un interesante debate, que ayudó sin duda al público japonés asistente a entender mejor la relación histórica y cultural de España con la lengua y la cultura árabes, tras casi ocho siglos de coexistencia.

3月3日は、セルバンテス文化センターから5人のスペイン語講師と、館長である私、計6名がアルアンダルスに関するプレゼンテーションを行いました。8世紀に渡るスペインの共存の歴史と文化、アラブの言語と文化の関係を各人が次々と発表し、日本ではあまり知られていない歴史を紹介する良い機会になったと思います。

1. Desfile de moda árabe アラブ・ファッションショー 2. Conferencia sobre similitudes entre España, Japón y los países árabes アラブ諸国・日本・スペインの類似性講演会
3. Conferencias sobre Al-Ándalus 「アルアンダルス」講演会 4. Concierto de música árabe アラブ音楽コンサート

El broche de oro tuvo lugar el 13 de marzo con el concierto de música andalusí a cargo del cantautor hispanomarroquí Suhail Serguini, que clausuró este interesante y atractivo Mes de la Cultura árabe. Suhail, en un ejemplo único de fusión musical, tocó con tres chicas japonesas con las que sólo había ensayado 45 minutos. El embajador de España comentó que parecía que habían estado tocando toda la vida. Asimismo, como ya había hecho Suhail en varios festivales de poesía, me pidió que recitara dos poemas míos de contenido árabe, acompañado por su música al laúd. Pero lo más curioso de ese concierto vino al final, al que llamamos -parafraseando el fin de fiesta flamenco por bulerías- un fin de fiesta por magrebías, donde Suhail además de cantar bailó un baile típico de la región marroquí del Rif.

魅力あふれるイベントが多数行われた文化月間は、3月13日モロッコ出身のシンガーソングライター、スハイル・セルジニ氏によるアンダルシア音楽コンサートで幕を閉じました。アラブ音楽フュージョン界最高の音楽家スハイル氏が日本の音楽家3名と共演しました。彼らのリハーサルはわずか45分でしたが、来場いただいたスペイン大使は、まるでいつも演奏をしているかのように息のあった演奏だったと感想を述べられました。以前詩のフェスティバルで彼と共演したことがあることから、今回私も依頼を受け、スハイル氏のウードの伴奏でアラブをテーマにした自作の詩を朗読しました。コンサートの最後は、フラメンコのフィナーレを飾るブレリアのマグレブ版とも呼ぶべきモロッコ、リーフ地方の伝統的ダンスを、スハイル氏が踊りながら歌い、会場を盛り上げてくれました。

El éxito y aceptación tanto por el público como por los países organizadores de este Mes de la Cultura Árabe, nos ha llevado a un compromiso con todas las embajadas árabes acreditadas en Japón de realizarlo con carácter bienal.

このように文化月間は非常に多くのお客様、参加諸国の方々に受け入れられ、成功裏に終了しました。このことから、私たちは同イベントを隔年で開催したいという思いをアラブ諸国の大使館とともに強めたのでした。

Antonio Gil de Carrasco
Nació en Granada en 1954. Escritor y periodista. Doctor en Letras, Licenciado en Filosofía y Letras, Diplomado en Educación General Básica. Actual Director del Instituto Cervantes de Tokio.
アントニオ・ヒル・デ=カラスコ
1954年グラナダ生まれ。作家、ジャーナリスト。文学博士。哲文学部卒業。教職課程履修。セルバンテス文化センター 東京(日本)現館長。

clic Centro de Lenguas e Intercambio Cultural

International House Sevilla y Cádiz

スペインのエッセンスが詰まった セビリアとカディスで語学留学

- 語学教育と講師養成コース等で世界的に定評のある**International House**及び**EQUALS** メンバー校
- **1**週間の短期から長期までご希望のコース期間が選択可能
- **DELE**試験開催校（年**3**回）として安心と信頼の**DELE**対策コース
- 現地日本人スタッフによる安心のサポート

CLIC International House Sevilla y Cadiz
クリック・インターナショナルハウス・セビリア＆カディス
Email: japan@clic.es（日本語でどうぞ）　**www.clic.es/jp**（日本語サイト）

Eaquals Excellence in Language Education

Instituto Cervantes Centro Acreditado

IALC

vol. 8 セマナサンタの慣習について

Hola！みなさんお元気ですか？暖かくなりスペインにも春がやってきました。今日はスペインの子供たちが毎年楽しみにしているセマナサンタの慣習のいくつかについてお話したいと思います。

このセマナサンタはキリスト教ではイエス・キリストがエルサレムに入った日とされるDomingo de Ramosの日からはじまります。この日にちはカトリック教会の典礼暦により毎年変わりますが、おおよそ3月から5月にあたります。この日、子供達はお父さんお母さん等から、やしの木の葉を細工したPalmasやPalmonesをプレゼントしてもらい教会まで持っていきます。またこの日は何か新しい物を身につけていくとよいと言われており、多くの人が新しく洋服や靴をおろします。そしてこの日を皮切りにスペインの各地にて、Procesiónのパレードがはじまります。

そして、セマナサンタはイエス・キリストが復活した日とされるDía de Pascuaで終わります。この日は昔からカタルーニャ、バレンシア等の地域で子供達はPadrinos（代父母）からプレゼントされたMona de Pascuaを食べる習慣があります。このMonaは、パンまたはケーキ等でできているのですが、その上にゆで卵がのっているのが特徴です。なぜ卵がのっているのか？一説によると、聖金曜日は肉を食べることが禁止されていたため、その次の日は栄養を十分に補うためにPadrinosは卵がのったMonaをプレゼントしたと言われています。

スペインのいくつかの地方では今でも殻のついたゆで卵が飾られたMonaが食べられていますが、その一方、近年、カタルーニャ地方では、ゆで卵の飾られたMonaよりもチョコレートのフィギュアが見かけられるようになりました。時代と共にゆで卵から卵形のチョコレートに置き換わり、また卵形のチョコレートからチョコレートの大小さまざまなフィギュアがケーキ屋さんに並ぶようになりました。サッカーが好きな男の子には、好きなサッカーチームのエンブレムがプリントされたチョコレートやサッカーボールの形をしたチョコレート。また好きなアニメキャラクターのある女の子には、そのキャラクターのフィギュアチョコレートなどが店頭を賑わせます。このようにセマナサンタはもらったMonaを家族みんなで食べつつ終わりを迎えます。

日本ではあまり馴染みのないセマナサンタですが、日本とはまた異なったお祭りや文化を垣間見ることができる素敵な春の風物詩のひとつです。

パンの上に卵型のチョコレートがのせてある、いわゆる昔からある伝統的なMona

カタルーニャ地方でよく見られるチョコレートのフィギュアのMona

Procesiónのパレード
教会には多くの人が集まります

小さいPalmasを持っている私の姪っ子たち

Xavier Cabrera

スペイン・カタルーニャ出身。映像ディレクター。旅と山と美味しいものをこよなく愛し、その土地特有の歴史や文化に魅せられる。2008～2011年まで大阪在住。

スペインのお勧め
バール・レストラン
Bares y restaurantes recomendables

Vol.11

La Brunilda Tapas

ラ・ブルニルダ・タパス

(Sevilla / セビージャ)

スペインではここ数年、GASTROBAR(ガストロバール)と呼ばれるバール・レストランが流行している。ガストロバールとは、庶民が手ごろな金額でオリジナル高級料理を楽しめる場所であり、皮肉にも2007年頃からの世界金融危機が原因で起こった現象だという。それはまさに生き残りをかけたシェフ達の創造とも言えよう。セビージャに存在するラ・ブルニルダ・タパスはその代表例であるが、その人気より“行列のできる店”として有名である。カップル、友人同士や職場の仲間で気軽に寄れるバール。口コミウェブサイトでは常に上位ランクに位置するバールで、ミニマリストスタイルの雰囲気が心地よく、食事とお喋りが弾む場所だ。常時メニューは店内の黒板にスペイン語にて大きく書かれているが、英語メニューもあるのでご安心を。黒板に記載していない日替わりタパスも種類が多く魅力的なので必ず給仕さんに確認することを忘れずに。ワインも豊富に揃えてあるので、食事に合うお勧めを聞いてからオーダーしよう!もちろんタパスだけではなくプレート料理もあり、シェアー可能なのも嬉しい。昼も夜もオープン時から混雑するため、早めの来店がお勧め。デザートもお楽しみに♪♪

写真上: Chipirón con Migas(ほたるイカとミガス) 4.5ユーロ/左下: Hamburguesa de Ternera & Chips(ビーフバーガーとチップス)4.5ユーロ/右下:天井が高い店内は快適

田中富子 たなかとみこ / Tomiko Tanaka
日本にてフォワーダー、米通信機会社勤務後、2001年よりセビージャ在住。2006年個人自営業ビザ獲得。2008年アンダルシア州立ハエン大学にてバージン・オリーブオイル・テイスターにおける大学のエキスパートコースを終了し、オリーブオイル・エキスパートに。現在は、オリーブオイルコース、食品輸出入仲介業と執筆業を主に、通訳、翻訳等スペインと日本を橋渡し中。誠実、情熱、感動がモットーの熱い人間です。 HP: www.creapasion.com / http://spain.fc2web.com

Información

La Brunilda Tapas (ラ・ブルニルダ・タパス)

住所: Calle Galera, 5, SEVILLA　電話:+34 954 22 04 81
HP: www.brunildatapas.wordpress.com
※上記情報は、2015年5月時点のもので変更する可能性があります。

マドリード在住15年
旬のスペイン情報をお届けします

スペイン小橋 ③

2015年セルバンテス大調査

前回に引き続きスペイン小橋では2015年にスポットを当てますが今回の御題はセルバンテス。論を俟たない世界の文豪の一人ですが、2015年はそのセルバンテスが執筆した長編風刺小説“ドン・キホーテ”の後編が1615年に出版されてから400年目に当たります。その400年目に当たる年まで意図的に待ったのかどうかは不明ですが、今年になって「セルバンテスを探せ」というお達しがマドリード市から出され、年明け早々テレビや新聞を賑わせ始めました。

実はセルバンテスは、ラス・トリニタリアス修道院に埋葬されていると言われていますが、正確な埋葬場所は不明とされています。そこでセルバンテスの遺骨を探すべく今回のお達しが出たというわけです。時々こういった二の句が告げない状況が報道されると、こちらもどう反応していいのかわからなくなります。

“ドン・キホーテ”はノルウェーのブック・クラブが2002年に主催した世界54カ国の著名作家100人の投票で1位に選ばれた作品で、それを世に送り出した産みの親は当然ジーザス並とはいかなくてもせめて聖ヤコブくらいの扱いを受けていてもよいんじゃぁありませんか?と茶々を入れたくなります。少なくとも世界の現代の文豪が認めているのです。

セルバンテスと同時期に活躍し、同じく1616年に死去したイギリスの文豪シェークスピア。英語の美しさを作品を通じて世界に広めた彼の墓碑はきちんと生まれ故郷の教会内陣に建っています。その一方で、スペイン語の美しさと表現の奥深さ、幅広さを世界に広めたセルバンテスのお墓はどれなのかわからない状況で今の今まで放置されていたというこの事実。(これは二人の経済力と歩んだ人生があまりに掛け離れていたので国の力は関係ないかもしれませんが。)

ようやく国がその事実の罪深さに気が付いたのか、またはセルバンテス没後400周年を迎える2016年の看板素材欲しさなのか、真意は測りかねますが、修道院の泥の床を数週間に渡り専門家たちが掘り返し、1月末にセルバンテスのものと思わしき棺桶が発掘されました。そこから始まる一連の鑑定調査の結果、仏様の身体的特徴が文豪のそれと一致する決定がなされた暁には、ドン・キホーテファンとしては文豪にふさわしい墓碑をふさわしい場所に立ててもらいたいと望むばかりです。

ラス・トリニタリアス修道院の外壁に刻まれるセルバンテスがここに眠ることを公示する石版。

土屋寛子 つちやひろこ / Hiroko Tsuchiya
マドリードに15年在住。仕事のビザで渡西、日系企業に勤務。スペイン人の夫と4歳の娘と暮らしている。
ブログ「スペインの扉」
spainnotobira.com
どうぞお越し下さい!

スペインファンをもっと増やそう!

西宮市国際交流協会

スペイン語 おしゃべりの会

活動報告 2015.3.8

今回のテーマ
Traducción japonés-español, puente entre culturas
(2つの文化を取り持つ日西翻訳談)

今回のCharlaは、4年間京都にお住いの翻訳家、Emilio Masiáさんをお迎えしました。翻訳の傍らスペイン語の講師もされています。お話のタイトルは「Traducción japonés-español, puente entre culturas(2つの文化を取り持つ日西翻訳談)」です。

代表的な翻訳(奥さまMoe Kuwanoさんとの共訳)に夏目漱石の「草枕」(Almohada de hierba)と「趣味の遺伝」(La herencia del gusto)があります。その他俳句作品「鎌倉 佐弓の(七つの夕日)と、夏石 番矢の(ブラックカード)」の翻訳もされています。日本の「古武術」にも強い関心があり、西宮市の道場に通っているとのことです。そもそも日本の文化に興味を持ったのは伯父さんの影響で、伯父さんは約40年前にスペインからイエズズ会の神父として来日されて、今も上智大学で「神学」(Teología)、「人類学」(Antropología)や「生命倫理学」(Bioética)の講義を続けておられます。この伯父さんのアドバイスでしょうか、日本に関して最初に読んだ本は、佛教、特に禅思想を欧米に英語で紹介した故鈴木大拙の「ZEN and Japanese culture」だったとのことです。

MasiáさんはGranada生れのBarcelona育ちです。このかなり異なった2つの地域の特徴を内に秘めた、大変物静な知的な雰囲気を持った方です。今回のCharlaの事前打合せはメールで全て日本語での交信でした。完璧な日本語の文章で、流石翻訳家と感心してしまいました。会って話をすると控えめなお人柄からかゆっくりと正確な日本語で話して下さいました。MasiáさんはCharlaで自己紹介と翻訳を始めたキッカケを話して下さり、続けてBarcelonaでのマンガ、コスプレや盆栽の人気振りを映像で紹介してくれました。その後、日本で生活してみることで、これまでとは別の視点で母国スペインを見ることができるようになり、更に自分の生れ育った環境や文化をより深く知ることができるようになったと話してくれました。翻訳とは2つの異なった文化を繋ぐ橋だと考えていると締めくくり、お願いしていた60分きっちり時計を見ながらのCharlaが終わりました。その後半時間、多くの参加者からの次々と出る質問に丁寧に答えてくれました。今後とも日本の様々な文化をスペイン語圏に紹介して下さることを大いに期待したいと思います。

さて次回は6月7日(日)にメキシコ出身のVioletaさんが、メキシコの話をして下さいます。どうぞお楽しみに!

文・写真提供　谷善三

次回開催のお知らせ

日程:2015年6月7日(日)午後2:00〜3:30
場所:〒662-0911 西宮市池田町11-1 フレンテ西宮 4階
(公財)西宮市国際交流協会 会議室
電話:(0798)32-8680　FAX: (0798)32-8678　E-mail: nia930@sound.ocn.ne.jp
ゲスト:Emilio Masiaさん　参加費:500円　定員:30名(先着順)
※お申し込みはお電話、FAX、E-mailにて / 5月7日(木)より受付開始

LIBROS

スペイン関連書籍

書評

今回紹介の書籍

『ジョージ・オーウェルと現代 – 政治作家の軌跡』
吉岡　栄一 著
彩流社　定価:2,200円 + 税

ジョージ・オーウェルがスペイン内戦(1936〜39年)の取材のためにスペインに赴く途中のパリで、私淑していたヘンリー・ミラーを訊ねる。時に1936年12月であった。その後ミラーは、彼を「愚かな理想主義者」と評したという。そういえば、彼の同時代の友人たちも彼を「ドン・キホーテ」と評していた。

事実、アガサ・クリスティの亡き後に、イギリス推理作家協会の会長を引き受けたジュリアン・シモンズは、若き日のオーウェルとの大論争を展開し、そして「オーウェルの高弟」と呼ばれ、彼が肺結核で入院後、彼の物心両面に援助を続けるなど、終生変わらなかった友情を回想して、「とにかくオーウェルはドン・キホーテだった」と、私に語ってくれた。

この2つの評価は正鵠を得ているのではないか。オーウェルに激しくもラディカルな発言を促したのは、「愚かな理想主義者」あるいは「ドン・キホーテ」的エトスに他ならないからである。

彼のスペイン内戦体験(バルセロナの革命的な町に圧倒され、即座にペンを捨て、共和国陣営の反スターニスト民兵隊員となりアラゴン戦線で負傷したために前線離脱し、バルセロナに戻って来たところ今度はスターリニスト官憲から追跡され、やっとスペインから脱出する)が、どの位深刻な影響を与えたか、スペイン内戦体験記『カタロニア讃歌』(1938)や『スペイン内戦回想』(1942)、それ以降の評論や小説、とりわけスターリニズムを完膚なきまでに告発した名著『動物農場』、あるいは反ユートピア小説『1984年』に苦々しく明示されている。

本書によると、オーウェルは「まさに自己存在の根源にかかわる重大事件として、政治を著作活動の中心にすえ、1人の表現者としていわば命を賭して政治の〈悪〉と立ち向かう政治作家」であるとみなし、例えば、宗教観、愛国心とナショナリズム、植民地主義、平和主義、第2次世界大戦、帝国主義、社会主義など多岐にわたるポレミックな論客であったが、確かに、こうした論題自体のなかには自己撞着と思われる側面もある。しかし、彼はこうしたことに臆することなく自説を明確に述べている。

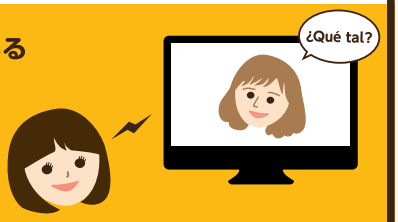
彼の姿勢は、ちょうどスペインでフランコ叛乱軍に逮捕され、死刑の判決を受け、セビリャの監獄に繋がれていた(その時の体験記『スペインの遺書』)が、イギリス政府のフランコ叛乱軍に対する強硬な抗議で、共和国側の捕虜となった叛乱軍の航空将校との捕虜交換でようやく釈放された、ハンガリー生まれのユダヤ系イギリス作家、アーサー・ケストラーが、帰還してオーウェルに語った言葉「歴史は1936年に止まった」と基本的には一致しているのだ。オーウェルは、当時の政治の腐敗やジャーナリズムの欺瞞性に背を向け、いわば社会的静寂主義に傾倒していった怯懦な知識人や作家、あるいは阿諛追従の徒とは真逆であった。それ故、彼の著作が混迷の真っ只中にあって依然として光芒を放っているのである。

昨今の、社会的、ならびに政治的な混迷と彷徨の度合いを深めている我が国において、もう一度、あるいは改めて、オーウェルの命がけの発言を再確認してもいいのではないだろうか。本書の著者も渾身の力を込めてそう主張している。

法政大学名誉教授　川成洋

オンライン・スペイン語レッスン《アオラ》
AHORA

いつでも好きな時に学べる
スカイプを使った
オンライン・スペイン語
スクールです。



マンツーマン指導!
時間が選べる!
登録料・入会金ゼロ!
お支払いは、チケット制!

http://ahora-esp.com

スペイン語 ADELANTE www.adelante.jp

スタッフ募集
語学・留学経験を活かしてみませんか?

仕事内容:　主にスペイン・中南米への留学サポートを担当していただく予定です
・留学カウンセリング、問合わせ応対
・スペインや中南米の語学学校への申込手続き、問合わせ等
・書類作成(見積書 / 学校や滞在先の詳細情報の書類 / 請求書等)

※下記業務を並行して行っていただきます
・スペイン語教室受付・電話応対　・スペイン書籍の管理、発送業務

※また、能力・経験に応じて他の業務をお願いすることもあります
・年に1度開催しているスペインフェアのイベント企画・進行業務
・スペイン情報誌acueducto 制作編集業務　・通訳・翻訳

応募条件:　・スペイン語スキル
(契約社員:DELE B2以上 / アルバイト:DELE B1程度　※応相談)
・英語(簡単な読み書きができる程度)
・PCスキル:Word, Excel必須
※Power Point, Illustrator, Photoshopの基本操作ができれば尚可

雇用形態:　契約社員 / アルバイト　※どちらも試用期間有

給与・待遇:　契約社員:経験・年齢・能力等を考慮し優遇/アルバイト:時給900円〜
※交通費全額支給

勤務時間:　10:00–18:45、12:45–21:30の2部シフト制　※相談に応じます

応募方法:　写真添付の履歴書(スペイン語・日本語)を郵送もしくはメールにて送付してください。
書類選考後、通過された方のみ面接の日時をご連絡いたします。

〒530-0001　大阪府大阪市北区梅田2-5-8 千代田ビル西別館 2F
有限会社ADELANTE 採用係 / info@adelante.jp

確かな技術と音楽する心を育てる

吉川二郎ギター教室

初心者歓迎！

コンサートフラメンコギター
クラシックギター＆ギタルパ

花屋敷教室（宝塚市）
天満橋教室（大阪市）
東京教室（月1回）
静岡教室（月1回）
ギターサークルJIRO（富士市）

お問合せ・入会のお申込みは
TEL&FAX.072-793-8684

詳しくはホームページで
吉川二郎　検索

マルティン・サンチェス画家

イラスト
デザイン

martin sanchez

www.jesusmartinsanchez.com
iesusangel@gmail.com

スペインタイルの絵付け教室
＆手作りタイル販売

スペインタイルアート工房

Tokyo/Osaka/Valencia (Spain)

大阪市西区南堀江 1-20-23-1003
Tel & Fax 06-4390-6545
Email: spaintile@japan.email.ne.jp
http://homepage1.nifty.com/spaintile/

スペイン菓子

サン・オノフレ

〒851-2106
長崎県西彼杵郡時津町左底郷290-1
TEL: 095-860-8180　FAX: 095-860-8181

Pasteleria Dulce Mina

スペイン菓子工房

ドゥルセ・ミーナ

ーポルボロン、トゥロン手作りの店ー

茨城県守谷市ひがし野3-11-2
TEL 0297-45-2740
http://dulcemina.jp/

---

acueductoに広告を掲載しませんか？

1コマ (4.5cm×4.5cm)
¥5,000- / 掲載1回分

✓サイズ・料金は下記サイトより確認下さい
www.acueducto.jp/publicidad

【お問合せ・お申込み先】
有限会社ADELANATE
Tel:06-6346-5554
Email: info@acueducto.jp

お申込みの際は
ご希望のサイズ・
掲載希望号を
明記ください

Yunoフラメンコ教室
神戸校・姫路校

徳田悠乃
Yuno Tokuda

TEL:090-2701-7952 / 078-797-4303
E-mail:tacon.tacon@docomo.ne.jp

スペイン語作文の方法［構文編］

小池和良 著　四六変型判　258 頁　CD 付　定価 2,700 円

時事スペイン語作文 658 題を通し，正しい構文を選ぶ感覚をつけよう！

●165 の構文パターン別に，課題文 165 と練習 493 題を訳しながら，作文力を確実に身につけることを目標としています．●実践的な解説と豊富な例文によって，文法規則に従い，意味が正しく通じるスペイン語を書く力を養成．●課題文の日本文・解答例を対訳形式で収録した CD 付．

〒162-0805 東京都新宿区矢来町 106　★価格は消費税 8% 込みです
Tel. (03)3267-8531　Fax. (03)3267-8606　http://www.daisan-shobo.co.jp

第三書房

CURSOS DE ESPAÑOL

～スペインとバスク文化の融合の街の伝統校～

- スペイン語一般コース
- スペイン語+インターンシッププログラム
- スペイン語+バスク料理
- スペイン語+サーフィン
- ホームステイ、ルームシェア、送迎サービス等

親切なスタッフと細かなサポート

一年を通して、短期留学から長期留学が可能

ラクンサ・インターナショナルハウス・サンセバスチャン
info@lacunza.com
www.lacunza.com

International House San Sebastian

ESTUDIO Sampere　desde 1956

スペイン･ラテンアメリカに５校舎展開。
生徒一人ひとりに合ったケアを行います。
Estudio Sampereは、60年の歴史ある語学学校です。
洗練された質の高い授業と、
また、どの年齢層にも対応したプログラムをご用意。
スペイン語だけではなく専門分野の知識も学べます。

CONTACT

T: +34 91 431 43 66
sampere@sampere.es
www.sampere.com

IALC International Association of Language Centres
Instituto Cervantes Centro Acreditado

COLEGIO DE ESPAÑA
Since 1973

www.colegioespana.com
info@colegioespana.com

INTERNATIONAL SPANISH COURSES
Learn Spanish in Salamanca

- バラエティー豊かなコース
- 一年を通して入学可能
- シニア歓迎
- 講師向けトレーニング
- 資格のあるネイティブ講師陣
- アクセスの良い好立地
- 厳選された宿泊先を紹介

The best option to learn Spanish

CEELE　fedele

Calle Compañía nº 65.
37002 Salamanca. Spain.
Telef: (+34) 923 21 47 88
Fax: (+34) 923 21 87 91

Costa de Valencia
escuela de español

すべてのレベルに対応可能
（初級～教師研修まで）、
1クラス最大8人まで、宿泊施設完備、
毎週アクティビティ有り、
DELE対応授業有り、
サッカー観戦&プレー、お祭り、
綺麗な海、暖かい気候、日本人生徒歓迎。

www.costadevalencia.com
info@costadevalencia.com
Av. Blasco Ibáñez, 66
E-46021 Valencia

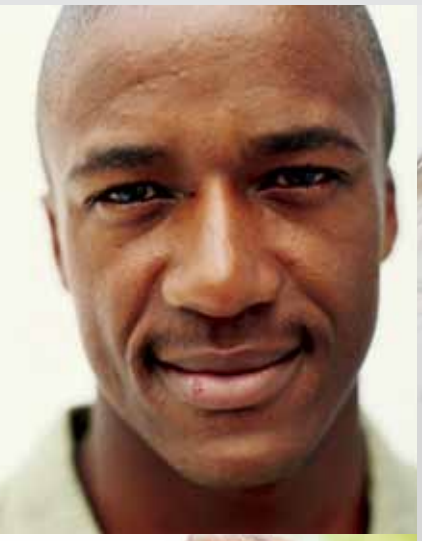
LEARN SPANISH ABROAD
SPAIN · ECUADOR · CUBA

WE ♥ SPANISH

donQuijote
スペイン語コース

1986年創立

スペイン語を生きよう
スペイン　ラテンアメリカ



年間3万5千人・85ヶ国からの留学生が受講中（アジアからの留学生は10%以下）。

スペイン・メキシコ・コスタリカ・エクアドル・ラテンアメリカ諸国計32都市の校舎にて受講頂けます。

多彩なスペイン語コースから、あなたのニーズにあったコースをチョイス。

徹底した少人数制（最大8名・平均4名）。

現地日本人スタッフのきめ細やかなサポート。

ヘッドオフィス　Tel.: +34 91 594 37 76　|　keiji.tanimura@donquijote.org

アリカンテ/バルセロナ/グラナダ/マドリッド/マラガ/マルベーリャ/サラマンカ/セビリア/テネリフェ/バレンシア（スペイン）
アルゼンチン/ボリビア/チリ/コロンビア/コスタリカ/キューバ/ドミニカ共和国/エクアドル/グァテマラ/メキシコ/ペルー（ラテンアメリカ）

Instituto Cervantes Centro Acreditado

www.donQuijote.org/jp

ideal education group

Fly to Spain with Turkish Airlines.

Discover harmony

TURKISHAIR-
Voted Europe's Best Airline at the 2014 Skytrax Passengers Choice

WIDEN YOUR WORLD | TURKISH AIRLINES

スペイン留学.jp

スペイン&中南米への留学サポート

留学相談、手続き代行無料サービス

- 学校への出願サポート
- 学生ビザ申請書記入のお手伝い
- 留学費用の海外送金
- ホームステイ、寮、又はシェアフラット、アパート等の申込み
- 空港出迎えサービスなど、各種オプションサービスの依頼代行

お問合せ
www.spainryugaku.jp
info@spainryugaku.jp
TEL:06-6346-5554

安心して出発できるよう、全力でサポートいたします

1週間のプチ留学から長期プログラムまで、色々な目的に合わせて豊富にラインアップ。あなたにぴったりの留学スタイル選び、入学手続きまで無料でお手伝いいたします。語学留学、シニア向けのロングステイプログラム、スペイン語+フラメンコ、スペイン料理、スペインワイン講座、など楽しいプログラムもあります。

スペイン全土、メキシコ・チリ・ペルーなど数多くの語学学校と提携

言葉に自信がなく、学校とのやり取りが不安な方も大丈夫。
入学申請書類の作成や必要な書類の送付、
留学費用の海外送金などは全て代行いたします。

2015
スペイン
フェア
11/14(土)
会場:フレンテホール[西宮]
入場無料

スペイン語
ADELANTE
www.adelante.jp

お問合せ
info@adelante.jp
TEL:06-6346-5554
大阪市北区梅田2-5-8千代田ビル西別館2F FAX:06-6110-5122

日本とスペインをつなぐ無料スペイン情報誌
[アクエドゥクト] 発行元
Asociación Cultural Española
スペイン文化協会

スペイン語教室 ADELANTE

無料体験レッスン
随時実施中!
お気軽に
お問合せ下さい。

「私のスペイン語、通じた♪」を実感

- ●ネイティブ講師だからプチ留学気分で自然なスペイン語をマスター
- ●定員6名までの少人数制グループレッスン
- ●ヨーロッパ共通参照枠CEFのレベルに即したカリキュラム
- ●振替ができるので忙しくても安心
- ●楽しい交流パーティーや文化イベントでスペイン語仲間がいっぱい
- ●目的やペースに合わせて選べるコース
  (一般・旅行・商業・DELE検定対策・プライベート・スペイン語の本を読むコースetc.)

スペイン語の本&雑貨

オンラインショップ アデランテ
ADELANTE
www.adelanteshop.jp
学習テキスト、文法問題集、
レベル別副読本、D.E.L.E.試験対策本、
絵本など各種取り扱っています。
送料全国一律280円。
8,000円以上のお買い上げで
送料無料!